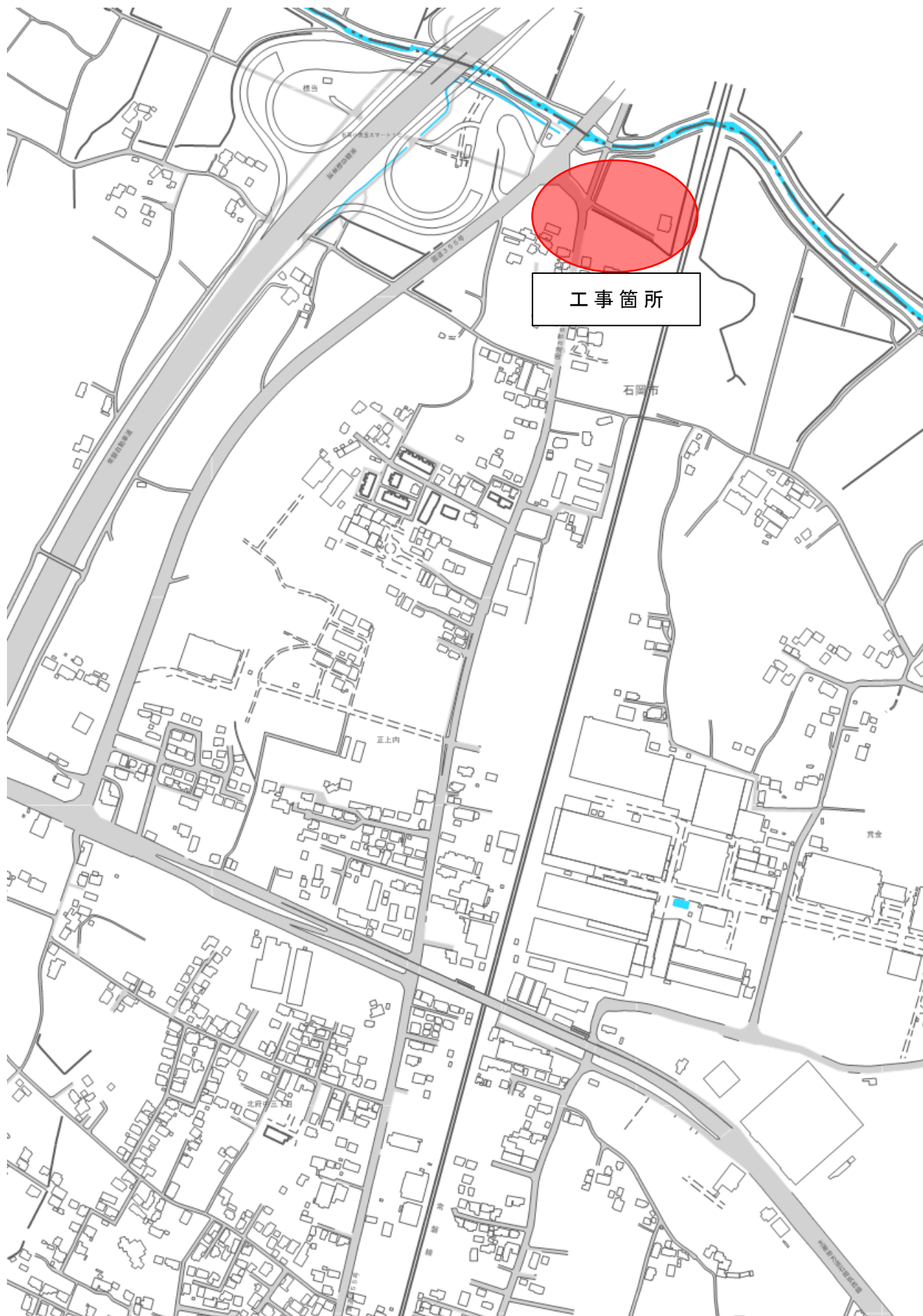


# 工事起工 概要書

部長	次長	課長	課長補佐	課員	課員	審査員	設計者			
執行年度	令和 元年度									
工事番号 工事名	R元市単公下第5号工事						起工 設計書			
工事場所 又は履行場所	石岡市 正上内									
施工方法	請負					原契約年月日	年 月 日			
工期又は 履行期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 日間									
受注者										
費目	起工	第1回変更	増減(△)			変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率  請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め)  変更積算工事価格 - 円  請負比率 -  変更工事価格 - 円				
起工額										
請負(委託) に付する額										
工事(業務) 価格										
測量試験費 又は工事雑費										
消費税相当額										
請負(委託) 決定額										
工 事 概 要										
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3
管路(開削)工事		L =	132.8	m	φ =	200	mm	土被り		m
リブ付管布設Φ200		L =	127.7	m						
組立1号人孔		N =	2.0	基						
組立2号人孔		N =	1.0	基						
小型塩ビ人孔		N =	1.0	基						
ウェルポイント工		L =	132.8	m						
汚水仮排水Φ75		L =	38.6	m						
変更理由										



工事箇所

R元市単公下第5号工事





# 特記仕様書

## 第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

## 第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

## 第3章 現場条件

### 1. 工事期間

本工事の工事期間は、契約締結日の翌日から令和2年3月15日までとする。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇とする。

### 2. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 : 午前 9時00分

作業終了 : 午後 5時00分

### 3. 安全管理

(1) 茨城県公安委員会告示第3号（平成19年2月22日付け）で指定された路上で交通規制を行う場合は有資格者（交通誘導員A）を適宜配置すること。また、その他の路線についても警備員（交通誘導員B）を適宜配置し一般交通等に支障を及ぼさないように十分に注意し施工するものとする。

また、受注者は工事の着工前に警備員の資格証明の写しを監督員に提出するものとする。

(2) 工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

### 4. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

### 5. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所が存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分に協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

(3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

### 6. 廃棄物の処理及び再資源化

(1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。



- (2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。
- (3) 受注者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式1（平成14年5月29日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式1）により監督員に報告すること。
  - I. 再資源化が完了した日
  - II. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
  - III. 再資源化等に要した費用

#### 7. 付近の建物等への影響

受注者は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、受注者の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

#### 8. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

#### 9. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

#### 10. 工事カルテ登録の対象工事

本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章1-1-5コリンズ（CORINS）への登録」に則り、工事カルテの工事実績情報サービス（CORINS）への登録及び工事カルテ受領書写しの監督員への提出等を行なわな

ければならない。

#### 第4章 工事用地等

##### 1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

#### 第5章 工事用電力

1. 工事期間中に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

#### 第6章 工事材料

##### 1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

##### 2. 現場発生品

- (1) 現場発生品のうち路盤材は、管路埋戻しに再利用することとし、使用規模及び使用の可否について事前に監督員と協議し承認を得なければならない。
- (2) 発生土については、下記に示す土質試験を行い規定値以上のものについては、埋戻し土として使用するものとする。  
コーン貫入試験   コーン指数   400kN/m<sup>2</sup> 以上  
CBR 試験         67回3層のCBR   3.0%以上
- (3) 埋戻し土として使用不可と認められる発生土は、下記の場所に搬入すること。

##### 搬入場所

茨城県石岡市 染谷 地内  
石岡ストックヤード《(財)茨城県建設技術管理センター》

- I 工事着手前に、(財)茨城県建設技術管理センター建設副産物リサイクル事業部（以下『管理センター』という。）より利用申し込み書類を取り寄せ、必要事項を記入のうえ監督員の確認を受けてから提出すること。
- II 事前に土質試料を採取してコーン指数試験（含水比を含む）等を行い、試験結果を管理センターへ提出すること。
- III 運搬10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程、ストックヤード利用上の注意事項等を打ち合わせること。
- IV スtockヤード利用料金は、管理センターの請求により支払うこと。
- V この他、ストックヤード利用の詳細については、管理センターと協議のこと。

問合先：財団法人 茨城県建設技術管理センター

建設副産物リサイクル事業部

水戸市青柳町4209

TEL029-227-5634/FAX029-227-8558

### 3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

受注者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替える旨について、施工計画書提出時に文書で提出し監督員の承諾を得なければならない。また、受注者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

#### (1) 認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
表層工（仮復旧）	再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度アソコ(20)	指定しない
下層路盤工（仮復旧）	再生路盤材（再生砕石）	RC-40	指定しない
管路埋戻	再生路盤材（再生砕石）	RB-40	指定しない

## 第7章 施工計画

### 1. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

### 2. 指定仮設

(1) 本工事に関する仮設は設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討のうえ、設計図書により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(2) 受注者においても本仮設工に対する施工技術検討を行い、その内容を提出するものとする。

(3) 工事の施工については、受注者の責任において実施するものとする。

### 3. 任意仮設

(1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。

(2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

## 第8章 施工管理

### 1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

### 2. 工程管理

適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

### 3. 安全管理

(1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。

(2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。



#### 4. 工事記録写真

- (1) 「写真管理基準（案）」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。
- (2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

### 第9章 その他

#### 1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石れき、木片・樹根・番線・ビニール紐・水系等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

### 第10章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議うえ、その指示に従うこと。

# 工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路			1	式		
管きょ工(開削)			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 300.000 m3 管路碎石埋戻 (管上30cm迄) 58.000 m3 管路碎石埋戻 (管頂30cm以上) 210.000 m3 路床入替 (RB-40) 2.000 m3 発生土処理 300.000 m3
管布設工			1	式		リブ付硬質塩化ビニル管 127.700 m
管基礎工			1	式		砂碎石礎 (W=0.95m) 126.800 m
管路土留工			1	式		たて込み簡易土留 132.800 m
地下水低下工			1	式		ウェルポイント 1.000 式
マンホール工			1	式		
組立マンホール工			1	式		組立1号マンホール 2.000 箇所 内副管 1.000 箇所 組立2号マンホール 1.000 箇所
小型マンホール工			1	式		小型マンホール 1.000 箇所
付帯工			1	式		
舗装撤去工 (仮復旧時)			1	式		舗装版切断 4.000 m 舗装版破碎 1.000 m2 殻運搬処理 0.100 m3
舗装仮復旧工			1	式		表層 (仮・仮) 1.000 m2 上層路盤 (M-30, t=20cm) 1.000 m2 上層路盤 (M-30, t=25cm) 2.000 m2 下層路盤 3.000 m2
既設管工			1	式		
人孔撤去 (蓋・斜壁)			1	式		構造物撤去 1.000 箇所
既設管中詰め工			1	式		中詰め注入工 0.700 m3

# 工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
既設管渠清掃工						バキューム車清掃
			1	式	1.000	式
仮設工						
			1	式		
汚水仮排水工						仮設排水管（汚水切回し）
			1	式	38.600	m
工所用仮設電力						仮排水ポンプ運転
			1	式	1.000	式
安全対策						仮排水管土工
			1	式	1.000	式
処分費						仮設電力設備費
			1	式	1.000	式
廃材処分費						交通誘導員
			1	式	1.000	式
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設						
			1	式		
共通仮設費						
			1	式		
運搬費						仮設材運搬費
			1	式	5.500	t
役務費						建設機械運搬費
			1	式	1.000	台
共通仮設費（率計上）						電力基本料金
			1	式	1.000	式
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		



# 工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別	数量	単位	金額	細別内訳
一般管理費等				
	1	式		
契約保証費用				
	1	式		
工事価格				
	1	式		
消費税相当額				
	1	式		
請負工事費				
	1	式		

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路									
管きよ工(開削)									
管路土工									
管路掘削					300.000	m3			
機械掘削工(バックホウ) バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))					300.000	m3			第0001号代価表
管路碎石埋戻(管上30cm迄)					58.000	m3			
碎石埋戻(RB-40, BH0.2+タンパ-)					58.000	m3			第0003号代価表
管路碎石埋戻(管頂30cm以上)					210.000	m3			
碎石埋戻(RB-40, BH0.2+タンパ-)					210.000	m3			第0003号代価表
路床入替(RB-40)					2.000	m3			
路床入替(RB-40)					2.000	m3			第0005号代価表
発生土処理					300.000	m3			
発生土運搬工(4t積級) ストックヤ-ト L=5.6km ダンプトラック規格(ダンプトラック 4t積級), 運搬距離(実数入力)(5.6 km), DID区間(DID区間なし), バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)), タイヤ損耗費(良好)					300.000	m3			第0007号代価表
管布設工									
リブ付硬質塩化ビニル管					127.700	m			

# 本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				リブ付硬質塩ビ管設置工(市場単価) Φ200 規格・仕様(呼び径 200mm), 施工規模(20m以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	127.700	m			第0009号代価表
				人孔用可とう継手 (リブ管用) Φ200	8.000	個			
				管基礎工					
				砂碎石礎 (W=0.95m)	126.800	m			
				碎石基礎 (市場単価・機械施工, RB-40)	10.000	m <sup>3</sup>			第0010号代価表 20190901
				管路土留工					
				たて込み簡易土留	132.800	m			
				建込工(たて込み簡易土留) H=2.5m 掘削深(掘削深2.5m以下)	81.800	m			第0012号代価表
				建込工(たて込み簡易土留) H=3.0m 掘削深(掘削深3.0m以下)	51.000	m			第0013号代価表
				引抜工(たて込み簡易土留) H=2.5m 掘削深(掘削深2.5m以下), クレーン賃料補正(標準 (1.0))	81.800	m			第0014号代価表
				引抜工(たて込み簡易土留) H=3.0m 掘削深(掘削深3.0m以下), クレーン賃料補正(標準 (1.0))	51.000	m			第0015号代価表
				簡易土留め材賃料 (H=2.5m)	45.000	m <sup>2</sup>			第0016号代価表 20190901
				簡易土留め材賃料 (H=3.0m)	54.000	m <sup>2</sup>			第0017号代価表
				地下水低下工					



# 本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
			ウエルポイント		1.000	式			
			ウエルポイント設置・撤去 作業区分(設置・撤去), サンドフィルター 使用の有無(無), 電力設備(商用電源(標準 ))		66.000	本			第0018号代価表
			ウエルポイントポンプ設置・撤去 作業区分(設置・撤去)		1.000	組			第0021号代価表
			ウエルポイントポンプ運転管理 電力設備(商用電源(標準)), ポンプ使用 組数(実数入力)(1組)			日			第0024号代価表
			ウエルポイント工損料 ウエルポイントポンプ組数(実数入力)(1 組), ウエルポイント本数(実数入力)(33 本), ヘッダーライン延長(実数入力)(66 .4 m), 腐蝕補正の有無(無), 供用日数(実 数入力)(日)		1.000	式			第0025号代価表
			ジェット装置損料 スターカッターの有無(無), 供用日数(実 数入力)(日)		1.000	式			第0026号代価表
			マンホール工						
			組立マンホール工						
			組立1号マンホール		2.000	箇所			
			圧力開放型人孔鉄蓋(変形防止部 材(ボルト含)付, 鍵付) φ600 T-14 勾配受H=110		2.000	個			
			転落防止はしご(φ600用) φ600		2.000	個			
			調整リング H=15cm、φ600		2.000	個			
			斜壁(1号用) H=450mm		1.000	個			
			斜壁(1号用) H=600mm		1.000	個			

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				直壁 (1号用) H=300mm	1.000	個			
				管取付壁 (躯体ブロック) 1号用 H=1800mm	2.000	個			
				底版 (1号用) H=130mm	2.000	個			
				削孔費 (0号・楕円・1号用) リブ管Φ200	3.000	箇所			
				底部工 (1号用, 標準用, 本管φ200)	2.000	箇所			第0027号代価表
				組立マンホール設置工 (市場単価) 規格・仕様 (1号 (900mm) 3m以下), 施工規模 (4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正 (無), 夜間作業補正 (無)	2.000	箇所			第0030号代価表
				内副管	1.000	箇所			
				内副管取付工 (H=3.285m) 段差 (m) (段差3.0m以上~3.5m未満)	1.000	箇所			第0031号代価表
				内副管継手 貼付型 Φ200×Φ150	1.000	個			
				カラー Φ150	1.000	個			
				90° 曲管 Φ150	1.000	個			
				プレーンエンド直管 Φ150	2.550	m			
				止め金具 (SUS製) Φ150用	4.000	組			
				組立2号マンホール	1.000	箇所			
				圧力開放型人孔鉄蓋 (変形防止部材 (ホリホ舎) 付, 鍵付) φ600 T-14 勾配受H=110	1.000	個			
				転落防止はしご (φ600用) φ600	1.000	個			

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
調整リグ H=10cm、φ600	2.000	個			
斜壁 (2号用) 600×1200×450mm	1.000	個			
管取付壁 (躯体ブロック) 2号用 H=2100mm	1.000	個			
底版 (2号用) H=170mm	1.000	個			
削孔費 (2号用) リグ管φ200	1.000	箇所			
組立マンホール設置工(市場単価) 2号 ， MH=2.651m 規格・仕様(2号(1200mm) 4m以下)，施工規模 (4箇所未満)，時間的制約を受ける場合の補 正(無)，夜間作業補正(無)	1.000	箇所			第0032号代価表
底部工 (2号用，流量計設置箇所 ，インバート工流量計工事に含む)	1.000	箇所			第0033号代価表 20190901
既設流域下水人孔削孔費 (3号用) 3号用，リグ管φ200	1.000	箇所			
小型マンホール工					
小型マンホール	1.000	箇所			
小型マンホール工(塩化ビニル製)(市場単 価) 規格・仕様1(径300mm 起点中間形式)，規格・ 仕様2(深3.5m以下 本管径150・200mm)，施 工規模(5箇所未満)，時間的制約を受ける場 合の補正(無)，夜間作業補正(無)，鋳鉄製防 護蓋設置の有無(有)	1.000	箇所			第0034号代価表
鋳鉄製防護蓋 (φ300，台座付) 塩ビ人孔用 T-14	1.000	組			
付帯工					
舗装撤去工 (仮復旧時)					

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
					4.000	m			
					4.000	m			施工P 第0035号代価表
					1.000	m2			
					1.000	m2			施工P 第0036号代価表
					0.100	m3			
					0.100	m3			施工P 第0037号代価表
					1.000	m2			
					1.000	m2			施工P 第0038号代価表
					1.000	m2			施工P 第0039号代価表
					2.000	m2			



# 本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				上層路盤 (粒調材M-30, t=25cm, 2層仕上) 全仕上り厚 (実数入力) (250 mm), 施工区 分(2層施工), 材料(粒度調整碎石 M-30), 費 用の内訳(全ての費用)	2.000	m2			施工P 第0040号代価表
				下層路盤	3.000	m2			
				下層路盤 (RC-40, t=15cm) 全仕上り厚 (実数入力) (150 mm), 施工区 分(1層施工), 材料(再生クラッシュ RC-40), 費 用の内訳(全ての費用)	3.000	m2			施工P 第0041号代価表
				既設管工					
				人孔撤去 (蓋・斜壁)					
				構造物撤去	1.000	箇所			
				構造物とりこわし 構造物区分(鉄筋構造物), 工法区分(機械施 工), 時間的制約の有無(無し), 夜間作業の 有無(無し), 低騒音・低振動対策(不要)	0.200	m3			第0042号代価表
				殻運搬 (笠間リサイクルパーク, L=8.9km ) 殻発生作業(Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこ わし), 積込工法区分(機械積込), DID区間の 有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (9.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)	0.200	m3			施工P 第0043号代価表
				碎石埋戻 (RB-40, BH0.2+タソパー )	1.100	m3			第0003号代価表
				既設管中詰め工					
				中詰め注入工	0.700	m3			
				注入グラウト材 (配合1:5)	0.700	m3			第0044号代価表
				グラウト注入工	0.700	m3			第0045号代価表
				既設管渠清掃工					

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
			バキューム車清掃		1.000	式			
			既設污水管L=23.0m, 人孔N=3箇所, 洗浄工 バキューム車高圧洗浄車運転 (別紙見積もり)		1.000	式			
			仮設工						
			污水仮排水工						
			仮設排水管 (污水切回し)		38.600	m			
			サクションホース損料 (3ヶ月未満) Φ75		38.600	m			
			仮設排水管設置撤去 作業区分(据付・撤去), 管種別(波状管及び網状管), 呼び径(50~150mm), 継手材料費(不要), 費用の内訳(全ての費用)		38.600	m			施工P 第0046号代価表
			削孔費 (0号・楕円・1号用) リブ付き塩ビ管Φ150以下		2.000	箇所			
			削孔部閉塞工		2.000	個所			第0047号代価表
			仮排水ポンプ運転		1.000	式			
			污水仮排水ポンプ Φ75, フロートスイッチ付き			供用日			
			ポンプサポート料金			供用日			
			ポンプレントル基本料 1現場当り		1.000	式			
			ポンプ設置・撤去		1.000	箇所			第0050号代価表
			仮排水管土工		1.000	式			
			機械掘削工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))		28.000	m3			第0001号代価表

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				砂埋戻 (BH0.2+タンパ-締固め)	4.000	m <sup>3</sup>			第0052号代価表
				機械投入埋戻工(バックホ+タンパ-) 発生土 バックホ規格(排対(2次)山積0.28m <sup>3</sup> (平0.2m <sup>3</sup> )), タンパ締固め数量(m <sup>3</sup> )(実数)(100 m <sup>3</sup> )	24.000	m <sup>3</sup>			第0053号代価表
				整地 作業区分(残土受入れ地での処理)	1.000	m <sup>3</sup>			施工P 第0055号代価表
				工事中仮設電力					
				仮設電力設備費	1.000	式			
				工事中仮設電力設備費 早見表グラフ(低圧契約, 3ヶ月未満)	1.000	式			
				安全対策					
				交通誘導員	1.000	式			
				交通誘導警備員B		人日			第0056号代価表
				処分費					
				廃材処分費					
				廃材処分費	1.000	式			
				コンクリート廃材処理費(中間処理施設) 道路用コンクリート製品(メッシュ筋) 60cm以下	0.500	t			
				アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	0.300	t			
				ストックヤード利用料金 発生土搬入	300.000	m <sup>3</sup>			
				直接工事費計					

# 本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
共通仮設									
共通仮設費									
運搬費									
仮設材運搬費					5.500	t			
仮設材等の積込み取卸し費 作業区分(積込み、取卸し(往復分))					5.500	t			第0057号代価表
仮設材等の運搬(簡易土留材): 往路 片道運搬距離(実数入力)(18.7 km), 製品長区分(12m以内), 運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)					5.500	t			第0058号代価表
仮設材等の運搬(簡易土留材): 復路 片道運搬距離(実数入力)(18.7 km), 製品長区分(12m以内), 運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)					5.500	t			第0058号代価表
建設機械運搬費					1.000	台			
運搬費(仮設ポンプ) 基地から現場(20.0km以内)					2.000	回			
役務費									
電力基本料金					1.000	式			
仮設電力基本料金 低圧24kw契約(臨時)						月			
共通仮設費(率計上)									
共通仮設費計									
純工事費									

# 本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
契約保証費用									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 機械掘削工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20190901
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 0002 号 代価表      バックホウ[クローラ]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)

1.000      時間      当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人			
軽油 1.2号	6.300	L			
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		時間			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称



第 0003 号 代価表 砕石埋戻 (RB-40, BH0.2+タンパ<sup>°</sup>-)

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m <sup>3</sup>			
機械投入埋戻工(バックホウQ=0.2+タンパ <sup>°</sup> -) バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m <sup>3</sup> (平0.2m <sup>3</sup> )),タン パ締固め数量(m <sup>3</sup> ) (実数) (100 m <sup>3</sup> )	1.000	m <sup>3</sup>			第0004号 代価表
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0004 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 バックホ規格	1	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2 タンパ締固め数量(m3)(実数)	100	100 m3

第 0005 号 代価表 路床入替 (RB-40)

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m <sup>3</sup>			
埋戻し (W=1.0m未満) 施工方法(最大埋戻幅1m未満)	1.000	m <sup>3</sup>			施工P 第0006号 代価表
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0006 号 代価表 埋戻し

施工P(機6.83%, 労90.09%, 材3.08%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m <sup>3</sup>	6.080	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.750	%			K2
普通作業員	54.720	%			R1
特殊作業員	26.910	%			R2
運転手 (特殊)	8.460	%			R3
軽油 1.2号	2.340	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.740	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

J 0 1 条件名称  
施工方法

入力値  
4

入力名称  
最大埋戻幅1m未満

第 0007 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オムロート・テイエール]4t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			第0008号 代価表 20190901
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		1		ダンプトラック 4t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		5.6		5.6 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		3		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0008 号 代価表 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積級

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油 1. 2号	34.000	L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 4 t 積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 機械損耗部品補正	入力値 2	入力名称 良好
-------	------------------	----------	------------

第 0009 号 代価表 リブ付硬質塩ビ管設置工(市場単価)

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
リブ付硬質塩ビ管設置工(材工共) 呼び径200mm	1.000	m			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		2		呼び径 200mm	
J 0 2 施工規模		1		20m以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	



第 0010 号 代価表 砕石基礎（市場単価・機械施工, RB-40）

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.200	m <sup>3</sup>			
砕石基礎設置工(機械施工)(市場単価) 施工規模(10m <sup>3</sup> 以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	1.000	m <sup>3</sup>			第0011号 代価表
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0011 号 代価表 砕石基礎設置工(機械施工)(市場単価)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砕石基礎工(手間のみ) 砕石基礎設置 機械施工	1.000	m3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 施工規模		1		10m3以上	
J 0 2 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 3 夜間作業補正		2		無	

第 0012 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ[クローラ]排対(2次)山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )		時間			第0002号 代価表 20190901
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 3	入力名称 掘削深2.5m以下
-------	-------------	----------	-------------------

第 0013 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ[クローラ]排対(2次)山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )		時間			第0002号 代価表 20190901
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 4	入力名称 掘削深3.0m以下
-------	-------------	----------	-------------------

第 0014 号 代価表 引抜工(たて込み簡易土留)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	掘削深	3	掘削深2.5m以下
J 0 2	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0015 号 代価表 引抜き工(たて込み簡易土留)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	掘削深	4	掘削深3.0m以下
J 0 2	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0016 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.5m)

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料単価 H=2.5m		日			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値	入力名称		



第 0017 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=3.0m)

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料単価 H=3.0m		日			
簡易土留め材整備費 H=3.5m以下用	1.000	m <sup>2</sup>			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値	入力名称		

第 0018 号 代価表 ウェルポイント設置・撤去

100.000 本 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ウェルポイント設置 サンドフィルター使用の有無(無), 電力設備(商用電源(標準))	100.000	本			第0019号 代価表 20190901
ウェルポイント撤去	100.000	本			第0020号 代価表 20190901
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	作業区分	1	設置・撤去
J 0 2	サンドフィルター使用の有無	1	無
J 0 3	電力設備	1	商用電源(標準)

第 0019 号 代価表 ウェルポイント設置

100.000 本 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	サンドフィルター使用の有無	1	無
J 0 2	電力設備	1	商用電源 (標準)

第 0020 号 代価表 ウェルシット撤去

100.000 本 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値	入力名称		

第 0021 号 代価表 ウェル°イントホ°ン°設置・撤去

1.000 組 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ウェル°イントホ°ン°設置	1.000	組			第0022号 代価表 20190901
ウェル°イントホ°ン°撤去	1.000	組			第0023号 代価表 20190901
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 作業区分	入力値 1	入力名称 設置・撤去
-------	--------------	----------	---------------

第 0022 号 代価表 ウェルシアポンプ設置

1.000 組 当り

名称	数量	単位	単価	金額	概要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0023 号 代価表 ウェルホントホソ撤去

1.000 組 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0024 号 代価表 ウェル・イントロンプ 運転管理

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 電力設備	1	商用電源 (標準)
J 0 2 ポンプ使用組数 (実数入力)	1	1 組



第 0025 号 代価表 ウェルポイント工損料

1.000 式 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ウェルポイントポンプ (ウェルポイント)	1.000	組			
ウェルポイント (ウェルポイント)	33.000	組			
ヘッダーライン (ウェルポイント)	66.400	組			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	ウェルポイントポンプ組数 (実数 入力)	1	1 組
J 0 2	ウェルポイント本数 (実数入力)	33	33 本
J 0 3	ヘッダーライン延長 (実数入力)	66.4	66.4 m
J 0 4	腐触補正の有無	1	無
J 0 6	供用日数 (実数入力)		日

第 0026 号 代価表 ジェット装置損料

1.000 式 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ジェット装置 (ウエルポイント)	1.000	組			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 スターカッターの有無	入力値 1	入力名称 無		
J 0 2	供用日数 (実数入力)		日		



第 0028 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労31.82%, 材68.18%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	14.900	%			R1
特殊作業員	8.390	%			R2
世話役	6.320	%			R3
生コンクリート (水セメント比: 指定無し) 18-8-25 (20) 高炉	68.180	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物
J 0 2 打設工法	4	人力打設
J 0 3 コンクリート規格	41	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	2	一般養生
J 0 7 現場内小運搬の有無	2	無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0029 号 代価表 モルタル上塗りマンホール用

1.000 m2 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
左官		人			
普通作業員		人			
モルタル練	0.020	m3			施工P
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 配合比	2	配合比 1 : 2
J 0 2 モルタル厚さ(10~30mm) (実数入力)	20	20 mm
J 0 3 セメント種類	1	普通

第 0030 号 代価表 組立マンホール設置工(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工 1号(900mm) 3m以下	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		4		1号(900mm) 3m以下	
J 0 2 施工規模		2		4箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0031 号 代価表 内副管取付工

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	箇所 当り 摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 段差(m)	入力値 6	入力名称 段差3.0m以上～3.5m未満		

第 0032 号 代価表 組立マンホール設置工(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	概要
組立マンホール設置工 2号(1200mm) 4m以下	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		7		2号(1200mm) 4m以下	
J 0 2 施工規模		2		4箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	



第 0033 号 代価表 底部工 (2号用, 流量計設置箇所, インバート工流量計工事に含む)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	0.396	m <sup>3</sup>			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0034 号 代価表 小型マンホール工(塩化ビニル製)(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
小型マンホール工(塩化ビニル製)径300 深さ3.5m以下 本管150,200mm	1.000	箇所			
小型マンホール工(塩化ビニル製) 加算額 鋳鉄製防護蓋設置費(手間のみ)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 規格・仕様1	1	径300mm 起点中間形式
J 0 2 規格・仕様2	3	深3.5m以下 本管径150・200mm
J 0 3 施工規模	2	5箇所未満
J 0 4 時間的制約を受ける場合の補正	2	無
J 0 5 夜間作業補正	2	無
J 0 6 鋳鉄製防護蓋設置の有無	1	有

第 0035 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.42%, 労53.37%, 材40.21%, 市0.00%)  
1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.340	%			K1
特殊作業員	18.480	%			R1
世話役	9.590	%			R2
普通作業員	8.000	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	37.360	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0036 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手 (特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	4	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0037 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 0 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0038 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機0.50%, 労42.14%, 材57.36%, 市0.00%)  
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6 t	0.320	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60 kg	0.160	%			K2
特殊作業員	20.870	%			R1
普通作業員	14.540	%			R2
世話役	4.350	%			R3
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	57.190	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.130	%			Z2
軽油 1.2号	0.030	%			Z3
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	50	50 mm
J05 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	5	無し
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0039 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.46%, 労59.52%, 材35.02%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.830	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.480	%			K2
普通作業員	25.020	%			R1
運転手(特殊)	21.020	%			R2
特殊作業員	11.750	%			R3
粒度調整碎石 M-30	33.360	%			Z1
軽油 1.2号	1.620	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	200	200 mm
J02 施工区分	2	2層施工
J03 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0040 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.46%, 労59.52%, 材35.02%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.830	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.480	%			K2
普通作業員	25.020	%			R1
運転手(特殊)	21.020	%			R2
特殊作業員	11.750	%			R3
粒度調整碎石 M-30	33.360	%			Z1
軽油 1.2号	1.620	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	250	250 mm
J02 施工区分	2	2層施工
J03 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用



第 0041 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.39%, 労69.63%, 材23.98%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	3.310	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.900	%			K2
普通作業員	29.260	%			R1
運転手(特殊)	24.600	%			R2
特殊作業員	13.750	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	22.040	%			Z1
軽油 1.2号	1.890	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	150	150 mm
J02 施工区分	1	1層施工
J03 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0042 号 代価表 構造物とりこわし

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
鉄筋構造物 昼間 機械施工 制約無	1.000	m 3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 構造物区分		2		鉄筋構造物	
J 0 2 工法区分		1		機械施工	
J 0 3 時間的制約の有無		1		無し	
J 0 4 夜間作業の有無		1		無し	
J 0 5 低騒音・低振動対策		2		不要	

第 0043 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	1	Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし
J 0 2 積込工法区分	1	機械積込
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 0 4 運搬距離 (km) (DID区間無)	11	9.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用





第 0046 号 代価表 暗渠排水管

施工P(機0.00%, 労32.06%, 材67.94%, 市0.00%)  
1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	21.680	%			R1
世話役	10.380	%			R2
暗渠排水管 (サクションホースΦ75) 【材料費別途計上】	67.940	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	3	据付・撤去
J 0 2 管種別	2	波状管及び網状管
J 0 3 呼び径	1	50～150mm
J 0 4 継手材料費	2	不要
J 0 5 費用の内訳	1	全ての費用



第 0048 号 代価表 型枠

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)  
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
型枠工	45.500	%			R1
普通作業員	30.090	%			R2
世話役	11.370	%			R3
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 型枠の種類	1	一般型枠
J 0 2 構造物の種類	2	小型構造物



第 0049 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労44.60%, 材55.40%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	25.350	%			R1
特殊作業員	8.710	%			R2
世話役	8.270	%			R3
生コンクリート (水セメント比: 指定無し) 18-8-25 (20) 高炉	55.400	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	2	小型構造物
J 0 2 打設工法	4	人力打設
J 0 3 コンクリート規格	41	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	2	一般養生
J 0 7 現場内小運搬の有無	2	無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0050 号 代価表 ホンフ設置・撤去

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	箇所 当り 摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		日			第0051号 代価表 20190901
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0051 号 代価表 バックホウ運転

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人			
軽油 1. 2号	69.000	L			
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き] 山積0. 8 m <sup>3</sup> (平積0. 6 m <sup>3</sup> ) 2. 9 t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			

第 0052 号 代価表 砂埋戻 (BH0.2+タンパ-締固め)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m3			
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タン パ締固め数量(m3)(実数)(100 m3)	1.000	m3			第0004号 代価表
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0053 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20190901
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P 第0054号 代価表 20190901
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2	タンパ締固め数量(m3) (実数)	100	100 m3

第 0054 号 代価表 タンパ締固め

施工P(機1.45%, 労97.12%, 材1.43%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60～80kg	1.450	%			K1
特殊作業員	51.920	%			R1
普通作業員	45.200	%			R2
ガソリン レギュラー	1.430	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

J 0 1 条件名称 費用の内訳 入力値 1 入力名称 全ての費用

第 0055 号 代価表 整地

施工P(機52.57%, 労34.83%, 材12.60%, 市0.00%)  
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (1次基準) ] ] 15 t級	52.570	%			K1
運転手 (特殊)	34.830	%			R1
軽油 1.2号	12.600	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

J 0 1 条件名称  
作業区分

入力値  
1

入力名称  
残土受け入れ地での処理

第 0056 号 代価表 交通誘導警備員B

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			



第 0057 号 代価表 仮設材等の積込み取卸し費

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
積込み. 取卸し費 (仮設材等)	2.000	t			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 作業区分	入力値 4	入力名称 積込み、取卸し (往復分)		

第 0058 号 代価表 仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
基本運賃 製品長12m以内 20kmまで	1.000	t			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 片道運搬距離 (実数入力)		18.7		18.7 km	
J 0 2 製品長区分		1		12m以内	
J 0 3 運搬割増率		4		各種 (実数入力)	
J 0 4 運搬割増率 (実数入力)		0		0	
J 0 5 その他の諸料金の有無		2		無	

令和 元 年度

R元市単公下第 5 号工事

数 量 計 算 書

石岡市都市建設部下水道課

# 目 次

	PAGE
§ 1. 数量総括表 .....	1-1
§ 2. 管 材 料 .....	2-1
§ 3. 土 工 .....	3-1
§ 4. 土 留 工 .....	4-1
§ 5. マンホール工 .....	5-1
§ 6. 仮 設 工 .....	6-1
§ 7. 付 帯 工 .....	7-1

## § 1. 数量総括表











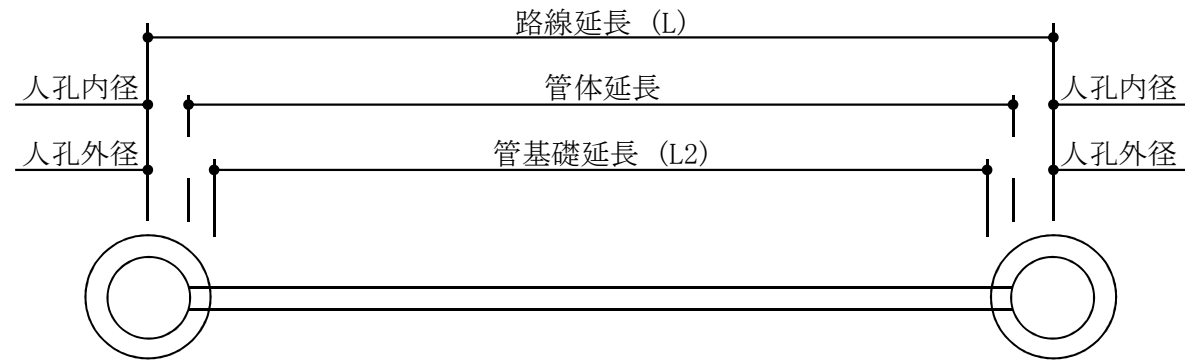






## § 2. 管 材 料

## 管材数量計算書

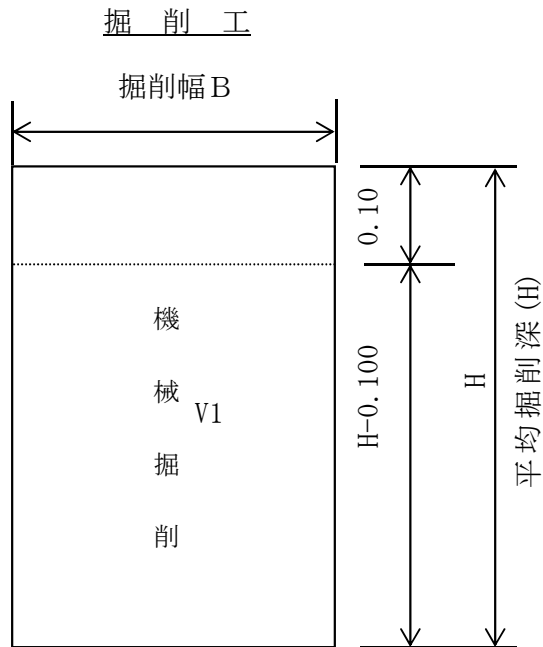


$$\text{管体延長} = \text{路線延長} - \text{人孔内径} \times 2$$

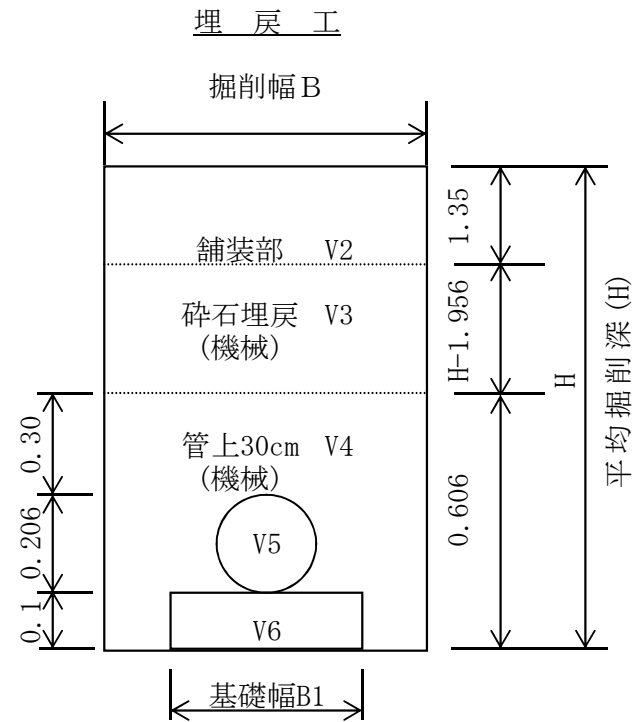
$$\text{管基礎延長} = \text{路線延長} - \text{人孔外径} \times 2$$

$$\text{塩ビ管本数} = \text{管体延長 (TOTAL)} \div 4$$

## 舗装部管渠土工量 (国道(車道)、リブ塩ビ管)



$$V1 = (H-0.10) \times B \times L \quad \text{m}^3$$



$$V2 = H1 \times B \times L = 1.35 \times B \times L \quad \text{m}^3$$

$$V3 = (H-H2-H3) \times B \times L2 = (H-1.35-0.606) \times B \times L2 = (H-1.956 \times B \times L2 \quad \text{m}^3$$

$$V4 = \{B \times H3 - (V5+V6)\} \times L2 = \{B \times 0.606 - (0.033+V6)\} \times L2 \quad \text{m}^3$$

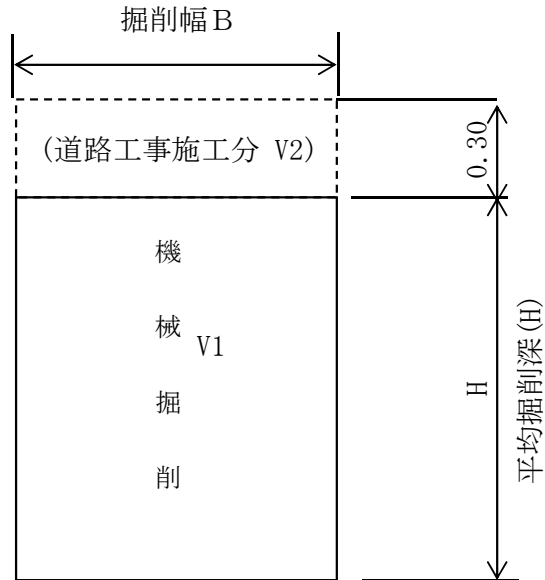
$$V5 = \pi/4 \times 0.206^2 = 0.033 \quad \text{m}^2$$

$$V6 = 0.10 \times B1 \quad \text{m}^2$$

$$B1 = B - \text{矢板厚} \quad \text{m}$$

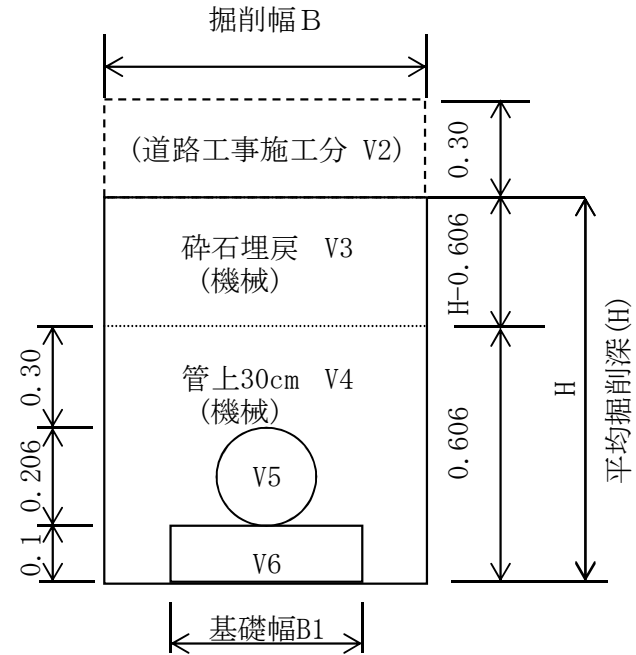
## 舗装部管渠土工量 (計画側道、リブ塩ビ管)

### 掘削工



$$V1 = H \times B \times L \quad \text{m}^3$$

### 埋戻工



$$\left( \begin{aligned} V2 &= H1 \times B \times L \\ &= 0.30 \times B \times L \quad \text{m}^3 \end{aligned} \right)$$

$$\begin{aligned} V3 &= (H - H2 - H3) \times B \times L2 \\ &= (H - 0.606) \times B \times L2 \quad \text{m}^3 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V4 &= \{B \times H3 - (V5 + V6)\} \times L2 \\ &= \{B \times 0.606 - (0.033 + V6)\} \times L2 \quad \text{m}^3 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V5 &= \pi / 4 \times 0.206^2 \\ &= 0.033 \quad \text{m}^2 \end{aligned}$$

$$V6 = 0.10 \times B1 \quad \text{m}^2$$

$$B1 = B - \text{矢板厚} \quad \text{m}$$





§ 3. 土 工

管 渠 土 工 計 算 書

路線番号	人孔番号	人孔種別	掘平 掘削 深均	掘削 幅	路線 延長	人孔等による減長 (m)		基礎 延長	土 工											基 礎 工			
						管体延長 L 1	上流 下流		基礎減長 L 2	機械掘削		舗装種別	控 除	埋 戻 し						残 土	砕 石	基 礎	
										舗装版厚	0.28m <sup>3</sup> V 1			舗装部分 V 2	管控除 面積	埋戻高	管上30cm 0.28m <sup>3</sup> V 4	砕石埋め戻し(機械) 0.28m <sup>3</sup> V 3	路床用砕石				
											埋戻高						埋戻高	埋戻高	0.28m <sup>3</sup> V 7				基礎幅 B1
上流 下流	上流 下流	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m <sup>2</sup> )	(m)	(m <sup>3</sup> )	(m)	(m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )	(m)	(m <sup>3</sup> )						
A1130-1	A1129-5 +2.50	1号	2.67	0.95	2.50	0.45 2.05	0.53	1.97		6.34	国道(工)	3.21	0.033	0.606	0.91	0.714	1.34	0.95	1.78	6.34	0.82	0.16	
A1130-1	A1130-2-1 +2.50	1号	2.67	0.95	3.50	0.45 3.05	0.53	2.97		8.88	計画側道		0.033	0.606	1.37	2.064	5.82			8.88	0.82	0.24	
A1130-2	A1130-2-1 A1130-2-2	1号	2.52	0.95	45.00	0.90 44.10	0.53	43.94		107.73	計画側道		0.033	0.606	20.24	1.914	79.90			107.73	0.82	3.60	
A1130-2	A1130-2-2 A1130-2-3	1号	2.29	0.95	46.00	0.90 45.10	0.53	44.94		100.07	計画側道		0.033	0.606	20.70	1.684	71.90			100.07	0.82	3.69	
A1130-2	A1130-2-3 A1130-2-4	1号	2.28	0.95	21.00	1.05 19.95	0.53	19.77		45.49	計画側道		0.033	0.606	9.11	1.674	31.44			45.49	0.82	1.62	
A1130-2	A1130-2-4 流域下水1-4-1	2号 3号	2.39	0.95	14.80	1.35 13.45	0.70 0.88	13.22		33.60	計画側道		0.033	0.606	6.09	1.784	22.41			33.60	0.82	1.08	
合 計					132.80	5.10 127.70		126.81		302.11					58.42		212.81		1.78	302.11		10.39	



## § 4. 土 留 工

# 山 留 工 計 算 書

路線番号	人孔番号	掘平 削 深均	掘削 深	路線 延長	軽量鋼矢板工法			建込み簡易土留め工法				基礎幅	備 考
					H=3.00m 全 面	H=3.50m 全 面	H=4.00m 全 面	H=2.00m 全 面	H=2.50m 全 面	H=3.00m 全 面	H=3.50m 全 面		
					支保工2段 (m)	支保工2段 (m)	支保工3段 (m)	(m)	(m)	(m)	(m)		
A1130-1	A1129-5 +2.50	2.67	0.95	2.50						2.50		0.82	
A1130-1	+2.50 A1130-2-1	2.67	0.95	3.50						3.50		0.82	
A1130-2	A1130-2-1 A1130-2-2	2.52	0.95	45.00						45.00		0.82	
A1130-2	A1130-2-2 A1130-2-3	2.29	0.95	46.00					46.00			0.82	
A1130-2	A1130-2-3 A1130-2-4	2.28	0.95	21.00					21.00			0.82	
A1130-2	A1130-2-4 流域下水1-4-1	2.39	0.95	14.80					14.80			0.82	
合 計		平均 2.47		132.80					81.80	51.00			

## §5. マ ン ホ ー ル 工



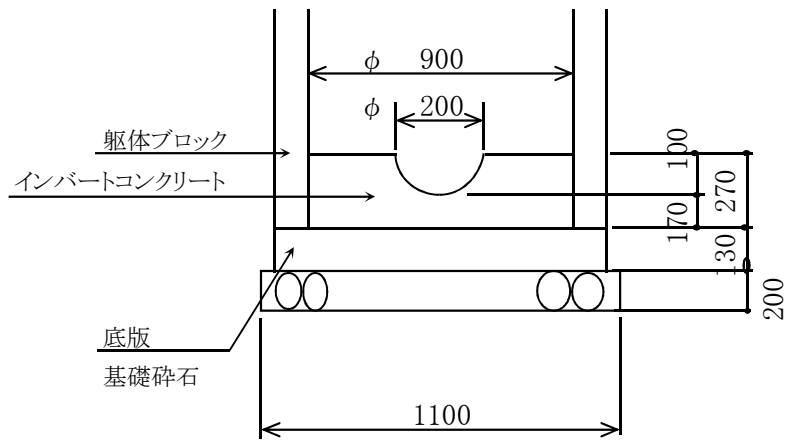




組立2号マンホール数量計算書

マン ホール 番 号	マン ホール 深 m	上 部 ブロック 高 m	流出管			流入管			副 管		組 立 マ ン ホ ー ル 材 料																削 孔 工		底 部 基 礎 工			可 とう 継 手		止 転 梯 落 子 防 箇 所	摘 要																	
			管 底 高 m	管 種 種	管 径 mm	管 底 高 m	管 種 種	管 径 mm	落 差 mm	管 種 種	管 径 mm	落 差 mm	軀 体 プ ロ ッ ク								直 壁 ( 1 2 0 )				斜 壁 ( 6 0 * 1 2 0 )		調 整 リ ン グ		調 整 モ ル タ ル		鉄 蓋		150 箇 所			200 箇 所	150 個	200 個														
													60	90	120	150	180	210	240	30	60	90	120	150	180	210	240	30	45	60	10	15							調 整 高 mm	調 整 量 m3	T-25 枚	T-14 枚										
既設 流域No. 1-3-1	5. 798	6. 018	8. 702	既HP	800	11. 987 8. 722	PRP 既HP	200 800	3285 20	VU	150	3285																					1									1										
合計	当初設計 平均																																													1					1	

# 1号組立式マンホール底部工数量



## 1, インバートコンクリート

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.20^2 \times 0.27 = 0.014 \text{ m}^3 \\
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 \times 0.27 = 0.172 \text{ m}^3 \\
 & - \frac{1}{4} \times \pi \times 0.20^2 \times \frac{1}{2} \times 0.90 = -0.014 \text{ m}^3 \\
 & \Sigma V = 0.158 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

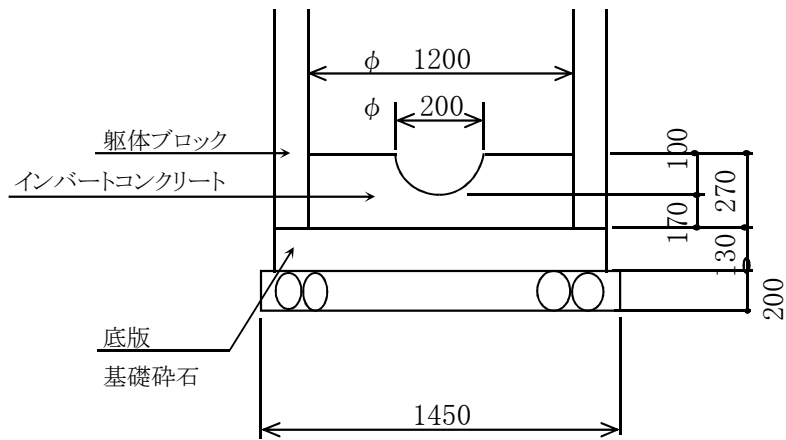
## 2, モルタル上塗り工

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 = 0.636 \text{ m}^2 \\
 & 0.20 \times \pi \times \frac{1}{2} \times 0.90 = 0.283 \text{ m}^2 \\
 & - 0.20 \times 0.90 = -0.180 \text{ m}^2 \\
 & \Sigma V = 0.739 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

## 3, 基礎砕石

$$\frac{1}{4} \times \pi \times 1.10^2 = 0.950 \text{ m}^2$$

## 2号組立式マンホール底部工数量



### 1, インバートコンクリート

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 1.20^2 \times 0.27 & = & 0.305 \text{ m}^3 \\
 & - \frac{1}{4} \times \pi \times 0.20^2 \times \frac{1}{2} \times 1.20 & = & - 0.019 \text{ m}^3 \\
 & \Sigma V & = & 0.286 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

### 2, モルタル上塗り工

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 1.20^2 & = & 1.131 \text{ m}^2 \\
 & 0.20 \times \pi \times \frac{1}{2} \times 1.20 & = & 0.377 \text{ m}^2 \\
 & - 0.20 \times 1.20 & = & - 0.240 \text{ m}^2 \\
 & \Sigma V & = & 1.268 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

### 3, 基礎砕石

$$\frac{1}{4} \times \pi \times 1.45^2 = 1.651 \text{ m}^2$$

副管径φ150mm 内副管取付工数量計算書

人孔NO.	流入管				上流管		流出管	副管高 (m)	塩ビ管φ150				振止金具 (SUS 304) (個)	
	管番号	管径 (mm)	管種	管厚 (mm)	管底高 (m)	管径 (mm)	管底高 (m)		管底高 (m)	PE直管 (m)	内副管用 MH継手 (個)	接着受口 カラー (個)		90°曲管 (個)
		D		t	H1	D	H2		H3	H				
既設 流域 1-4-1	A1130-2	200	PRP	3.0	11.987	800	8.722	8.702	3.285	2.552	1	1	1	4
計										2.55	1	1	1	4
平均							1箇所		3.29	2.55	1	1	1	4



§ 6. 仮 設 工

## ウエルポイント工数量計算書

工 種	計 算 式	数 量
ウエルポイント設置工 (サンドフィルター使用)	A1130-1      A1130-2 (      6.00   +   126.80   )	
	片側設置 ×                      1 = 132.80	132.80 m
	設置間隔      片側設置 132.80 ÷      2.00 ×      1                      = 66.40	66 本
ウエルポイント撤去工		66 本
ウエルポイントホップ 設置工	方向 132.8 ÷      66.4 ×      2 )                      = 1.00	1 組
ウエルポイントホップ 撤去工		1 組
ウエルポイントホップ 運転管理	積算根拠      ウェルポイント運転日数参照	1 式
ウエルポイント工損料		
ウエルポイントホップ 損料 (供用1日当り)	積算根拠      ウェルポイント供用日数参照	1 式
ウエルポイントホップ 損料 (1現場当り)		1 組
ウエルポイント 損料 (供用1日当り)	積算根拠      ウェルポイント供用日数参照	1 式
ウエルポイント 損料 (1現場当り)	66.4 ÷      2                      = 33.20	33 本
ハッターライン 損料 (供用1日当り)	積算根拠      ウェルポイント供用日数参照	1 式
ハッターライン 損料 (1現場当り)	設置間隔      片側設置 132.80 ÷      2.00 ×      1                      = 66.40	66.4 m/セット
ジェット装置 損料		
ジェット装置 損料 (供用1日当り)	積算根拠      ジェット装置供用日数参照	1 式
ジェット装置 損料 (1現場当り)		1 組

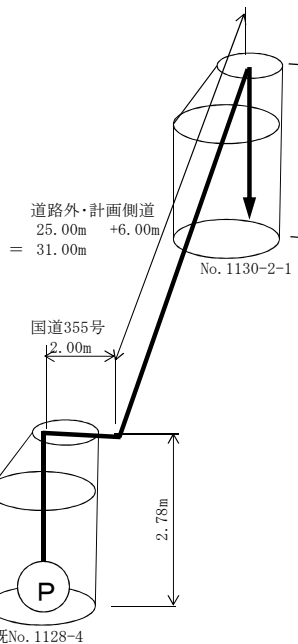




## 仮設排水管土工計算書 <設置時>

図	路線	仮配管延長 (VPφ75)				ポンプ 設置撤去 (回)	土工断面別 土工延長							付帯工 側溝蓋設置撤去		備考		
		人孔内	縦断	計	国道355号		道路外 計画側道							L500 (枚)	L1000 (枚)			
		(m)	(m)	(m)	(m)		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)					
	既1128-4 ~ 1130-2-1	5.60	33.00	38.60	1	2.00	31.00											
	計		5.60	33.00	38.60	1	2.00	31.00										

土工断面 種別	現況 舗装厚 (m)	土被り (m)	管外径 D (m)	掘削深 (m)	平均掘削幅 (m)	舗装幅 (m)	1m当たり数量							
							掘削 (m3)	砂埋戻 (m3)	発生土埋戻 (m3)	残土 (m3)	舗装切断 (m2)	舗装取壊 (m2)	殻処分 (m3)	殻重量 (t)
国道355号 道路外 計画側道	0.10	0.60	0.092	0.692	0.619	0.688	0.366	0.112	0.310	0.022	2.000	0.688	0.069	0.162
		0.60	0.092	0.692	0.619	0.688	0.428	0.112	0.310	0.084				



土工断面 種別	土工延長 (m)	集 計							
		掘削 (m3)	砂埋戻 (m3)	発生土埋戻 (m3)	残土 (m3)	舗装切断 (m)	舗装取壊 (m2)	殻処分 (m3)	殻重量 (t)
国道355号	2.00	0.73	0.22	0.62	0.04	4.00	1.38	0.14	0.32
道路外 計画側道	31.00	13.27	3.47	9.61	2.60				
計	33.00	14.00	3.69	10.23	2.64	4.00	1.38	0.14	0.32

仮設排水管土工計算書 <撤去時>

図	路線	仮配管撤去延長 (VPφ75)			ポンプ 撤去 (回)	土工断面別 土工延長									
		横断 (m)	縦断 (m)	計 (m)		国道355号 (m)	計画側道 (m)	(側溝内) (m)	(m)	(m)	(m)				
	既1128-4 ~ 1130-2-1	5.60	33.00	38.60	1	2.00	31.00								
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	~														
	計		5.60	33.00	38.60	1	2.00	31.00							

土工断面 種別	舗装・路盤 復旧厚 (m)	掘削深 (m)	管外径 D (m)	平均掘削幅 (m)	路盤・ 舗装幅 (m)	1m当たり数量			
						掘削 (m3)	埋戻 (m3)	残土 (m3)	仮復旧 (m2)
国道355号	0.40	0.692	0.092	0.619	0.688	0.422	0.181	0.221	0.688
道路外 計画側道		0.692	0.092	0.619	0.688	0.422	0.428	-0.054	

土工断面 種別	土工延長 (m)	集 計			
		掘削 (m3)	発生土埋戻 (m3)	残土 (m3)	仮復旧 (m2)
国道355号	2.00	0.84	0.36	0.44	1.38
道路外 計画側道	31.00	13.08	13.27	-1.67	
計	33.00	13.92	13.63	-1.23	1.38

仮排水管における人孔削孔

路線		削孔 人孔	人孔種別	削孔 VPφ100用
既1128-4	～ 1130-2-1	既1128-4	1号	1
	～	1130-2-1	1号	1
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
	～			
計			1号	2
			0号	
			合計	2



## § 7. 付 帯 工



**付 帯 工 計 算 書 ( 本 管 部 )**

路線番号  
人孔番号

A1130-1

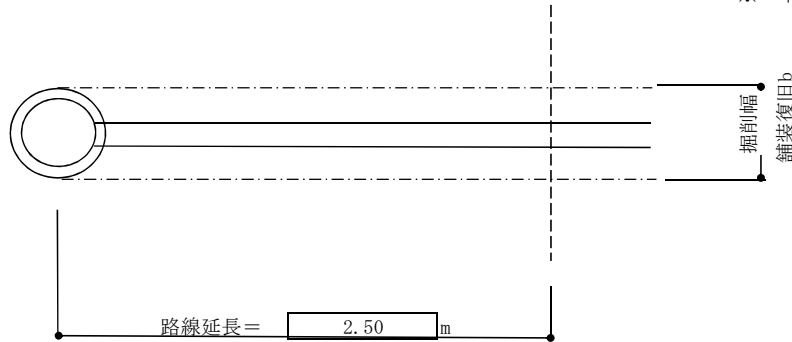
A1129-5

~

+2.50

**国道(工)**

※ 本復旧は行わない



掘削幅 = 0.95 m

舗装復旧幅 = 0.95 m

側溝等減長 = m

路線延長 = 2.50 m

舗装減長 = m

人孔蓋控除

0・1・特1号人孔 3.14/4\*0.82<sup>2</sup>=0.53m<sup>2</sup>

塩ビ・Co人孔 3.14/4\*0.42<sup>2</sup>=0.14m<sup>2</sup>

本復旧工 アスファルト		本管部	×						=	m <sup>2</sup>	
		人孔蓋減	0.53	×	箇所	=	m <sup>2</sup> ÷ 2 =		=		
		側溝等減	0.14	×	箇所	=	m <sup>2</sup> ÷ 2 =		=		
								計	=	- m <sup>2</sup>	
仮復旧工 表層工 アスファルト		本管部	×						=	m <sup>2</sup>	
		人孔蓋減	0.53	×	1	箇所	=	0.53 m <sup>2</sup> ÷ 2 =	#####	=	
		側溝等減	0.14	×	箇所	=	m <sup>2</sup> ÷ 2 =		=		
								計	=	- m <sup>2</sup>	
基層工		本管部	×		-				=	- m <sup>2</sup>	
上層路盤工 M-30	t=25cm	本管部	2.50	×	0.95	-	0.27		=	2.11 m <sup>2</sup>	
下層路盤工 RC-40	t=15cm	本管部	2.50	×	0.95	-	0.27		=	2.11 m <sup>2</sup>	
舗装切断工	t=10cmまで		2.50	×					=	m	
									計	=	- m
舗装版破碎工		1回目	×				0.27		=	m <sup>2</sup>	
		2回目	×					(1回目)	=	m <sup>2</sup>	
		仮復旧分	×						(仮復旧分)	=	m <sup>2</sup>
								計	=	- m <sup>2</sup>	
ガラ処分工			×		+		×		=	- m <sup>3</sup>	
機械掘削工 (路盤部)			×		×				=	- m <sup>3</sup>	
残土処分工			機械掘削工に同じ							=	- m <sup>3</sup>





### 管路閉塞計算書

路線番号	人孔番号		管内径 mm	人孔種別		人孔による減長	路線延長 m	人孔控除 m	管体延長 m	中込注入 m <sup>3</sup>	摘要
	上流			上流	上流						
	下流			下流	下流						
A1129	A1128-5		200	1号	0.450	14.60	1.05	13.55	0.43		
	A1129-1			2号	0.600						
A1129	A1129-1		200	2号	0.600	8.40	1.35	7.05	0.22		
	流域下水1-3-1			3号	0.750						
合計						23.00	2.40	20.60	0.65		

令和 元 年度

R元市単公下第 5 号工事

積 算 根 拠

石岡市都市建設部下水道課

◎ 仮設材運搬費及び賃料 (φ200mm)

簡易土留	重量 (t) 15m当り	賃料 (円)
H= 1.5		
H= 2.0		
H= 2.5	4.380	94,050
H= 3.0	5.520	89,640
H= 3.5		
H= 4.0		
H= 4.5		
計		183,690 円

運搬重量 (15m当り最大重量)

5.520 t

施工実日数 (交通誘導員)

簡易土留	施工実日数
土留めなし	
H= 1.5	
H= 2.0	
H= 2.5	12
H= 3.0	8
H= 3.5	
H= 4.0	
H= 4.5	
仮設排水管設置撤去	2
	22
計	22 日

22日 × 1人 = 22 人・日

水替日数

簡易土留	水替え日数
土留めなし	
H= 1.5	
H= 2.0	
H= 2.5	19
H= 3.0	13
H= 3.5	
H= 4.0	
H= 4.5	
	32 + 3
計	35 日

仮設排水

工 程	水替え日数
流量計移設	1
マンホール切替	1
同 養生	3
	5
運転日数 計	5 日





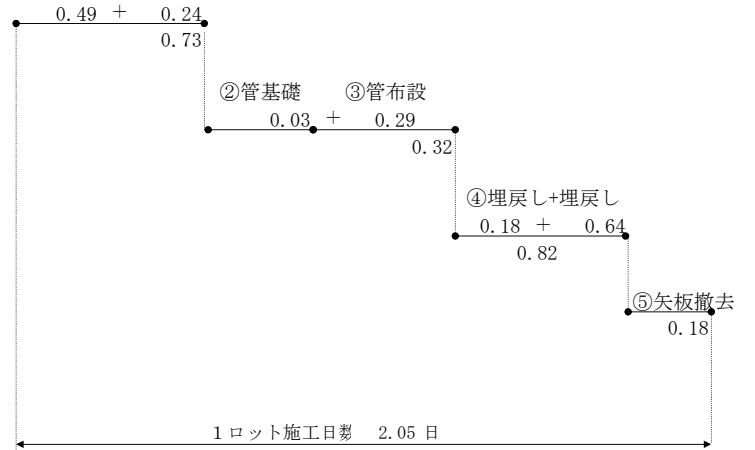
施工日数の算定 (建込簡易土留めH=2.50m)

1ロット標準延長= 15 m PRP 200 施工延長 81.80 m  
 H= 2.5 m 掘削幅 0.95 m

工 程 表

工 種	数 量				1日当たりの 施工量	施工日数 (実日数)			
機械掘削	全体数量 179.16	÷	施工延長 81.80	×	15.00	=	32.85 m <sup>3</sup>	67 m <sup>3</sup> /日	0.49 日
矢板設置工					=	15.00 m	62.70 m/日	0.24 日	
管基礎工	15.00	×	0.10	×	0.82	=	1.23 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日	0.03 日
リブ付塩ビ管 布設工					=	15.00 m	51.28 m/日	0.29 日	
埋戻し 管上30cm	全体数量 35.90	÷	施工延長 81.80	×	15.00	=	6.58 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日	0.18 日
埋戻し 砕石	全体数量 125.75	÷	施工延長 81.80	×	15.00	=	23.06 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日	0.64 日
矢板撤去工					=	15.00 m	83.33 m/日	0.18 日	
								計	2.05 日

①機械掘削+矢板設置



日当たり  
 施工延長 15.00 m ÷ 2.05 日 = 7.31 m/日 → 7.3 m/日 → 3パネル分 9.0 m使用

実日数 81.80 m ÷ 7.31 m/日 = 11.1 日 → 12 日

供用日数 81.80 m ÷ 7.31 m/日 × 不稼働日数 1.7 = 19.0 日 → 19 日

損 料 H m 使用 m 側 (1セット分)  
 2.50 × 9.00 × 2 = 45.0 m<sup>2</sup>

補正係数 = 1.0

賃 料 ( 110 円/m<sup>2</sup>・日 × 19 日 ) × 45 m<sup>2</sup> = 94,050 円

運搬重量 t/15m ÷ m/lot × m  
 7.3 ÷ 15.0 × 9.0 = 4.38 t

安全日数 (実日数) = 12 日

仮設材損料日数 (供用日数) = 19 日

水替日数 (供用日数) = 19 日

施工日数の算定 (建込簡易土留めH=3.00m)

1ロット標準延長= 15 m PRP 200 施工延長 51.00 m  
 H= 3.0 m 掘削幅 0.95 m

工 種	数 量				1日当たりの 施工量	施工日数 (実日数)			
機械掘削	全体数量 122.95	÷	施工延長 51.00	×	15.00	=	36.16 m <sup>3</sup>	67 m <sup>3</sup> /日	0.54 日
矢板設置工					15.00 m	=		52.25 m/日	0.29 日
管基礎工	15.00	×	0.10	×	0.82	=	1.23 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日	0.03 日
リブ付塩ビ管 布設工					15.00 m	=		51.28 m/日	0.29 日
埋戻し 管上30cm	全体数量 22.52	÷	施工延長 51.00	×	15.00	=	6.62 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日	0.18 日
埋戻し 砕石	全体数量 87.06	÷	施工延長 51.00	×	15.00	=	25.61 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日	0.71 日
矢板撤去工					15.00 m	=		76.92 m/日	0.20 日
						計	2.24 日		

日当たり  
施工延長 15.00 m ÷ 2.24 日 = 6.69 m/日 → 3 パネル分 9.0 m使用

実日数 51.00 m ÷ 6.69 m/日 = 7.6 日 ⇒ 8 日

供用日数 51.00 m ÷ 6.69 m/日 × 不稼働日数 1.7 = 12.9 日 ⇒ 13 日

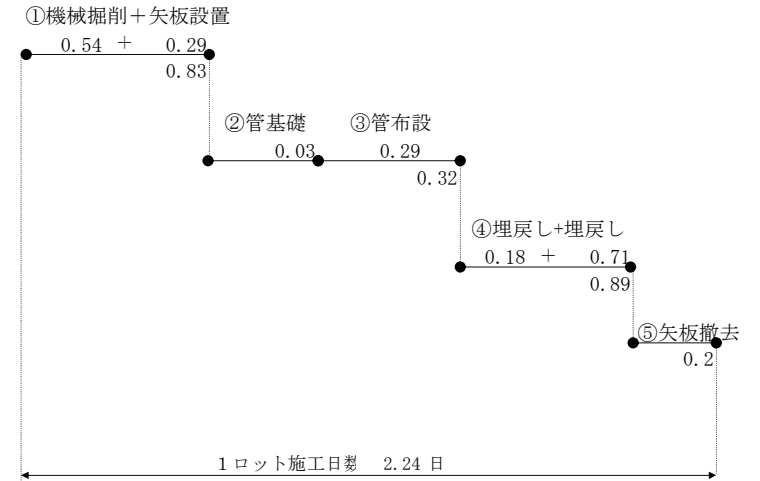
損 料 H 3.00 m × 使用 9.0 m × 側 2 (1セット分) = 54.0 m<sup>2</sup>

補正係数 = 1.0

賃 料 ( 110 円/m<sup>2</sup>・日 × 13 日 + 230 円/m<sup>2</sup>・現場 × 1.0 ) × 54 m<sup>2</sup> = 89,640 円

運搬重量 t/15m 9.2 ÷ m/lot 15.0 × m 9.0 = 5.52 t

工 程 表



安全日数 (実日数) = 8 日

仮設材損料日数 (供用日数) = 13 日

水替日数 (供用日数) = 13 日



施工日数の算定（仮設排水管設置・撤去）

仮設排水管φ 75

施工延長 33.00 m（地下埋設分）

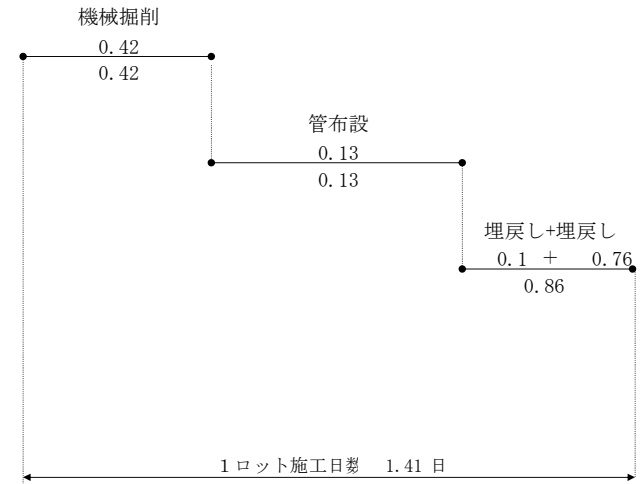
工 種	数 量		1日当たりの 施工量	施工日数 (実日数)
機械掘削	設置時 14.00	撤去時 + 13.92	= 27.92 m <sup>3</sup>	67 m <sup>3</sup> /日 0.42 日
矢板設置工			= m	m/日 0.00 日
管基礎工			= m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> /日 0.00 日
仮設管 布設工			= 33.00 m	250 m/日 0.13 日
埋戻し 管上30cm	設置時 3.69		= 3.69 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日 0.10 日
埋戻し 発生土	設置時 13.63	撤去時 + 13.63	= 27.26 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> /日 0.76 日
矢板撤去工			= m	m/日 0.00 日
				計 1.41 日

日当たり  
施工延長  $33.00 \text{ m} \div 1.41 \text{ 日} = 23.4 \text{ m/日}$

実日数  $33.00 \text{ m} \div 23.4 \text{ m/日} = 1.4 \text{ 日}$

供用日数  $33.00 \text{ m} \div 23.4 \text{ m/日} \times 1.7 \text{ 不稼働日数} = 2.3 \text{ 日}$

工 程 表



安全日数 (実日数) = 2 日

仮設材損料日数 (供用日数) = 3 日

## 契約負荷設備の入力換算計算

低圧電力 臨時契約

積Ⅱ-5-⑩-3~5

使用機器名	出力	換算率	入力	台数	契約負荷	同時に使用する機器		
	(kW)		(kW)			設備入力	1	2
ウェルポイントポンプ	18.5	1.25	23.13	1	23.13	○		
仮設排水用ポンプ	2.2	1.25	2.75	1	2.75	○		
合計	20.7				合計値 X:	25.88		

### 台数圧縮の計算

最大入力のものから

最初の 2 台の入力につ  $25.88 \text{ kw} \times 100\% = 25.88$

次の 2 台の入力につ  $\text{kw} \times 95\% =$

上記以外の入力につき  $\text{kw} \times 90\% =$

合計値：Y  $25.88 \text{ (kw)} \quad 25.88 \text{ (kw)}$

### 最大契約電力の算出

最初の  $6 \text{ kw} \times 100\% = 6$

次の  $14 \text{ kw} \times 90\% = 12.6$

”  $5.88 \text{ kw} \times 80\% = 4.7$

”  $\text{kw} \times 70\% =$

$25.88 \text{ (kw)} \quad 23.3 \text{ (kw)}$

よって最大契約電力は、 24 kw

契約期間 35 日 → 1.2 月

※発動発電機の場合  $20.7 \times 1.25 \times 1.5 = 38.81 \approx 125 \text{ kVA}$

## 仮設電力設備工

### (1) 契約電力の算定 < 低圧電力 臨時契約 >

土Ⅱ-5-⑱-3

#### ・基本料金単価 K

R01約款P27～P29

	R01約款P26	消費税割戻	臨時契約割増		
標準単価：	1122.00 円/kw・月	÷ 1.10	×	1.2 =	1,224 円
力率割引：	1,224	×	0.05	=	61.2 円

土Ⅱ-5-⑱-3

土Ⅱ-5-⑱-5

$$\therefore K = 1,224 - 61.2 = 1162.8$$

$$\underline{\underline{= 1,162 \text{ 円/kw・月}}}$$

#### ・最大契約電力 Z

$$\therefore Z = 24 \text{ kw} \quad (\text{別紙計算})$$

$$\text{よって 基本料金} = K \times Z$$

$$= 1,162 \times 24 = \underline{\underline{27,888 \text{ 円/月}}}$$

#### ・需要契約期間 S

$$\therefore S = 35 \div 30 = \underline{\underline{1.2 \text{ ヶ月}}}$$

### (2) 仮設電力設備費の算定

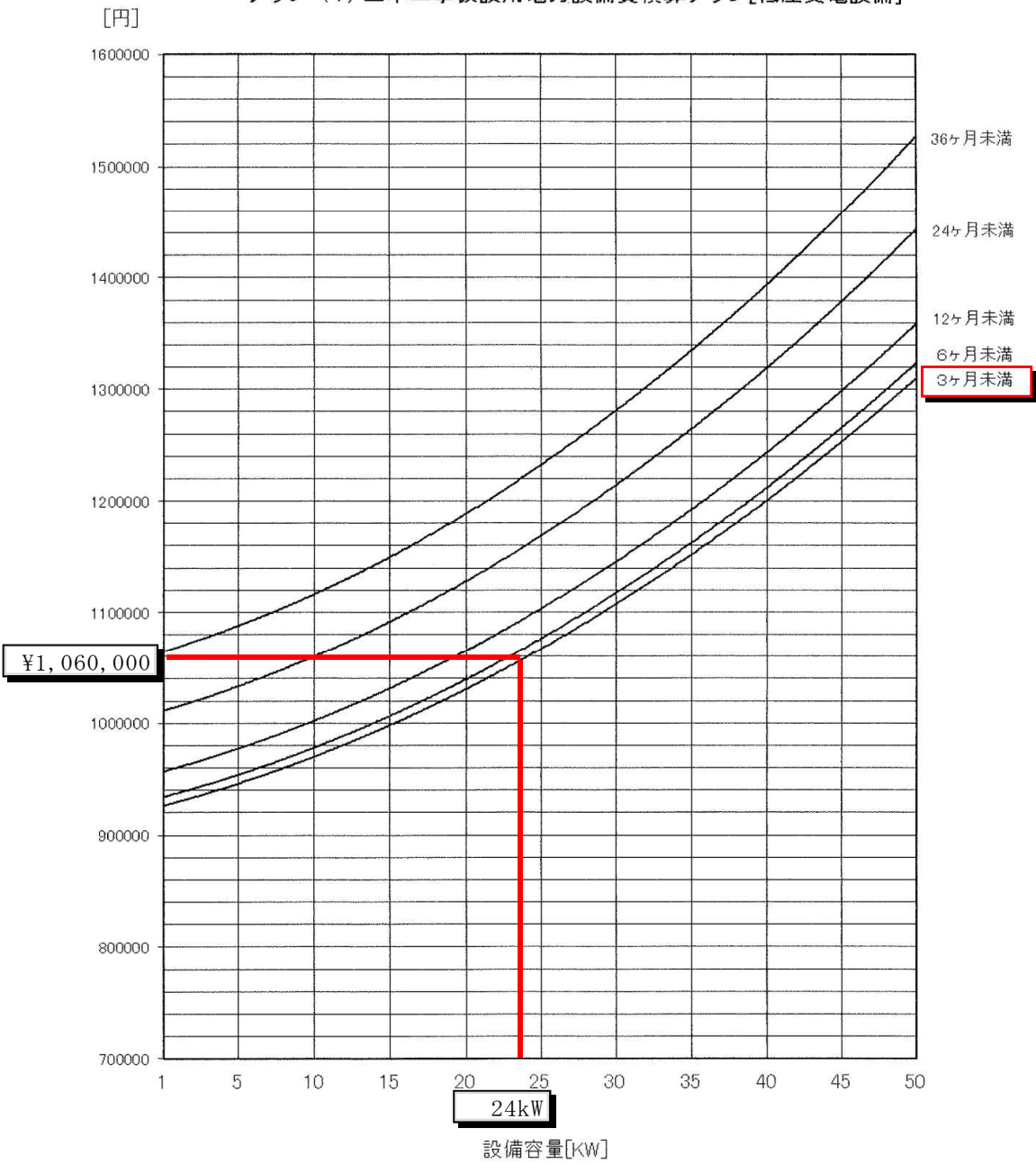
別紙計算より

- ・設備容量 24 kw
- ・供用日数 1.2ヶ月 → 3ヶ月未満

よって 土Ⅱ-5-⑱-2 土木工事仮設用電力設備費積算グラフ[低圧受電設備]より

1,060,000 円

グラフ-(1) 土木工事仮設用電力設備費積算グラフ[低圧受電設備]



## 積算根拠

### (1). 機械掘削 下P. 15

機械掘削 バックホウ(m <sup>3</sup> )	1日当り 施工量(m <sup>3</sup> )	備考
0. 10	48	山積0. 13m <sup>3</sup>
0. 20	67	山積0. 28m <sup>3</sup>
0. 35	99	山積0. 45m <sup>3</sup>
0. 60	217	山積0. 80m <sup>3</sup>

### (2). 管布設工 H25下(参)P. 4

※特殊作業員の施工能力で決定する。

リップ付硬質塩化ビニル管

本管径	歩掛り (10m/人)	従事者数 (人)	1日当り 作業量 (m/日)
150	0. 38	2	52. 63
200	0. 39	2	51. 28
250	0. 41	2	48. 78

### (3). 埋戻し工 下P. 21 土歩1-14-(1)-17

埋戻し タンク転圧より 1日当り作業量 36m<sup>3</sup>/日

### (4). 建込み簡易土留め 下P. 38 10m当たり

土留高さ	歩掛り		重量 (t)		日当り建込み延長 (m)	
	設置 (バックホウ, h)	撤去 (トラッククレーン, 日)	30m当り	15m当り 換算	設置 (バックホウ)	撤去 (トラッククレーン)
H= 2. 00m	0. 80	0. 10	12. 000	6. 000	78. 38	100. 00
H= 2. 50m	1. 00	0. 12	14. 600	7. 300	62. 70	83. 33
H= 3. 00m	1. 20	0. 13	18. 400	9. 200	52. 25	76. 92
H= 3. 50m	1. 30	0. 16	23. 000	11. 500	48. 23	62. 50
H= 4. 00m	1. 50	0. 18	32. 700	16. 350	41. 80	55. 56
H= 4. 50m	1. 70	0. 21	38. 300	19. 150	36. 88	47. 62
H= 5. 00m	2. 00	0. 25	46. 500	23. 250	31. 35	40. 00
H= 5. 50m	2. 40	0. 30	52. 600	26. 300	26. 13	33. 33
H= 6. 00m	3. 20	0. 35	58. 500	29. 250	19. 59	28. 57

※1ロット施工延長を15mとするため、30m当り重量の50%とする。

設置工 バックホウによる1日当りの建込み延長

$10. 0m \div \text{設置(バックホウ)歩掛り} = \text{時間当り建込み延長 (m/h)}$

日当り作業時間の算定

6. 27h/運転日

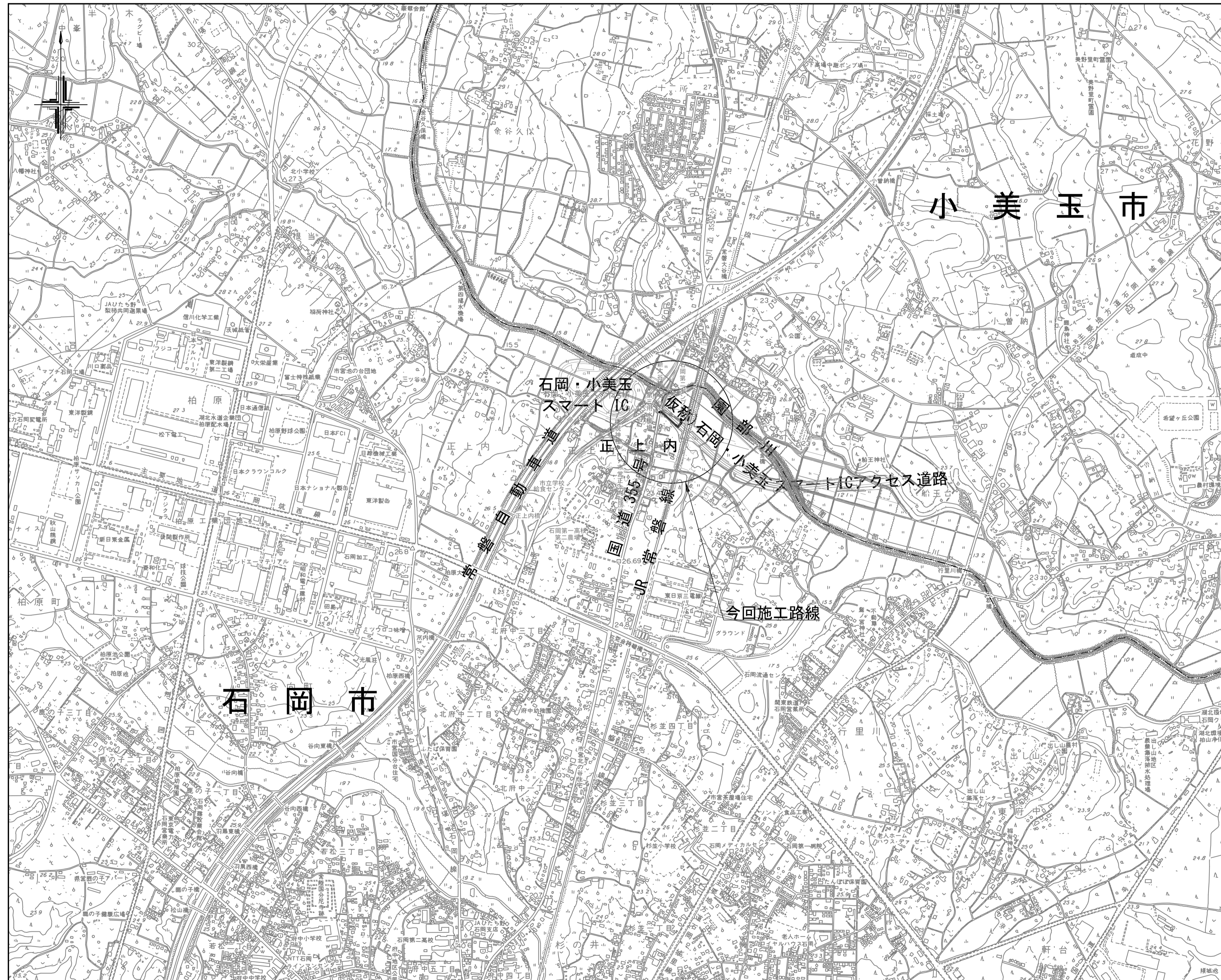
$\text{時間当り建込み延長 (m/h)} \times 6. 27h/\text{運転日} = \text{日当り建込み延長 (m/日)}$

撤去工 トラッククレーンによる1日当り撤去延長

$10. 0m \div \text{撤去(トラッククレーン)歩掛り} = \text{日当り撤去延長 (m/日)}$



# 位置図 縮尺 1/10,000

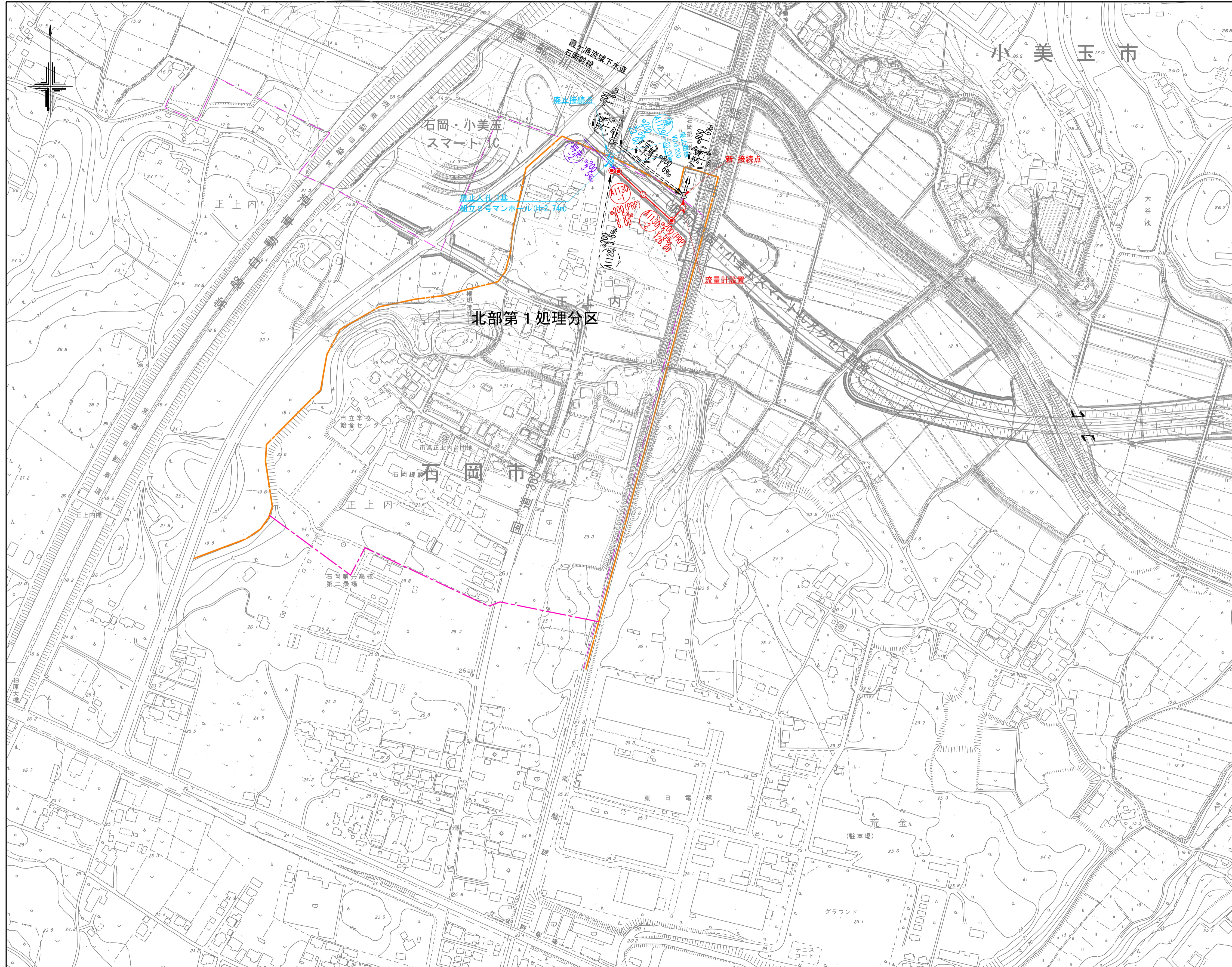


図面 種別	位置図	図面 番号	1 10
縮尺	1:10,000		
工事名	R元市単皮下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			



# 系統図

縮尺 1/2,500



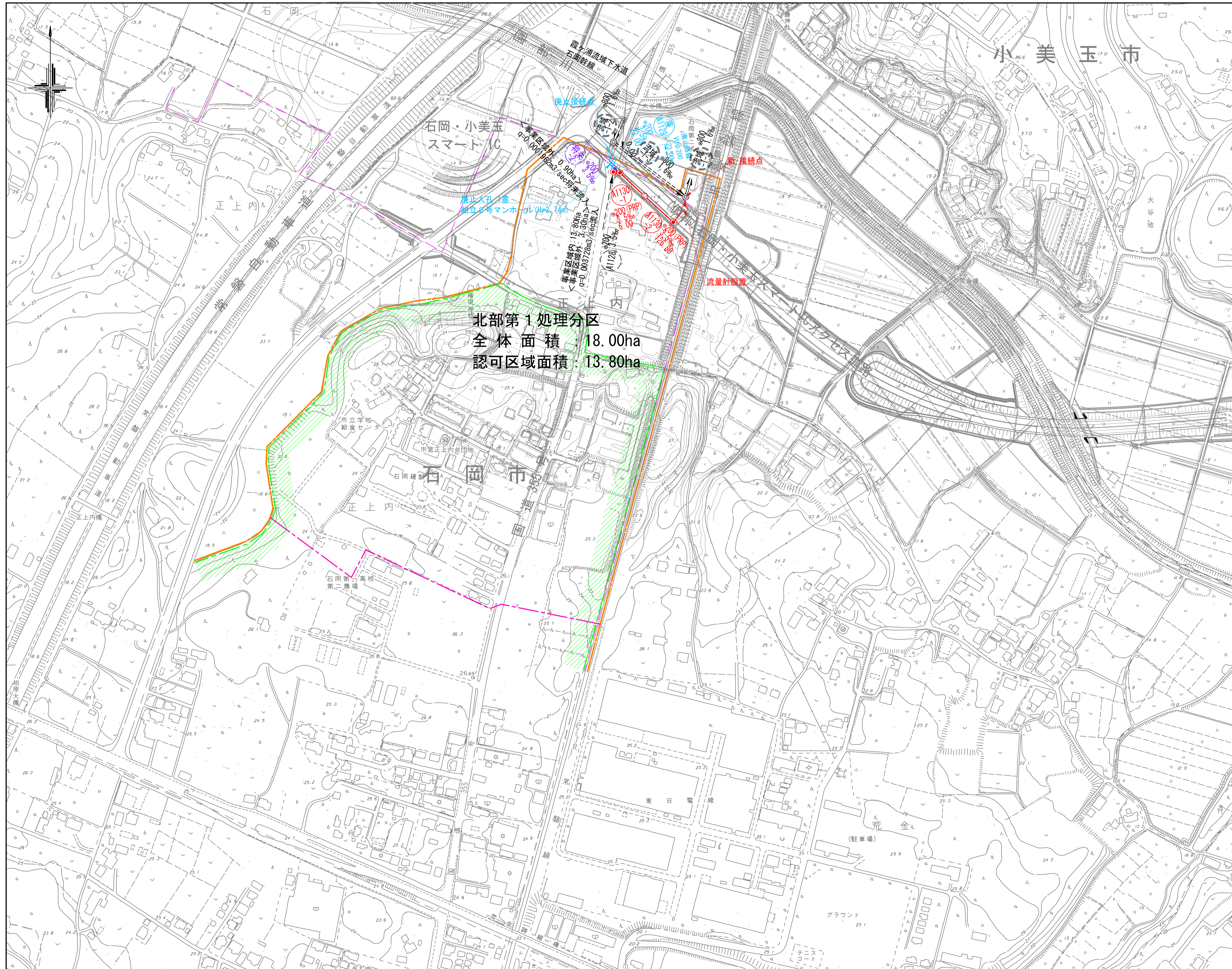
## 凡例

名称	記号
実施路線	→ (Solid red line)
計画路線	→ (Dotted purple line)
既設路線	→ (Dashed black line)
廃止路線	→ (Blue line with 'X' marks)
塩ビ製人孔	→ (Circle with 'V' inside)
0号人孔 (内径75cm円形)	→ (Circle with '0' inside)
1号人孔 (内径90cm円形)	→ (Circle with '1' inside)
2号人孔 (内径120cm円形)	→ (Circle with '2' inside)
3号人孔 (内径150cm円形)	→ (Circle with '3' inside)
A1号人孔 (内径60x90cm楕円)	→ (Circle with 'A1' inside)

図面別	系統図	図面番号	2/10
縮尺	1:2,500		
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			



# 区画割平面図 縮尺 1/2,500



## 凡例

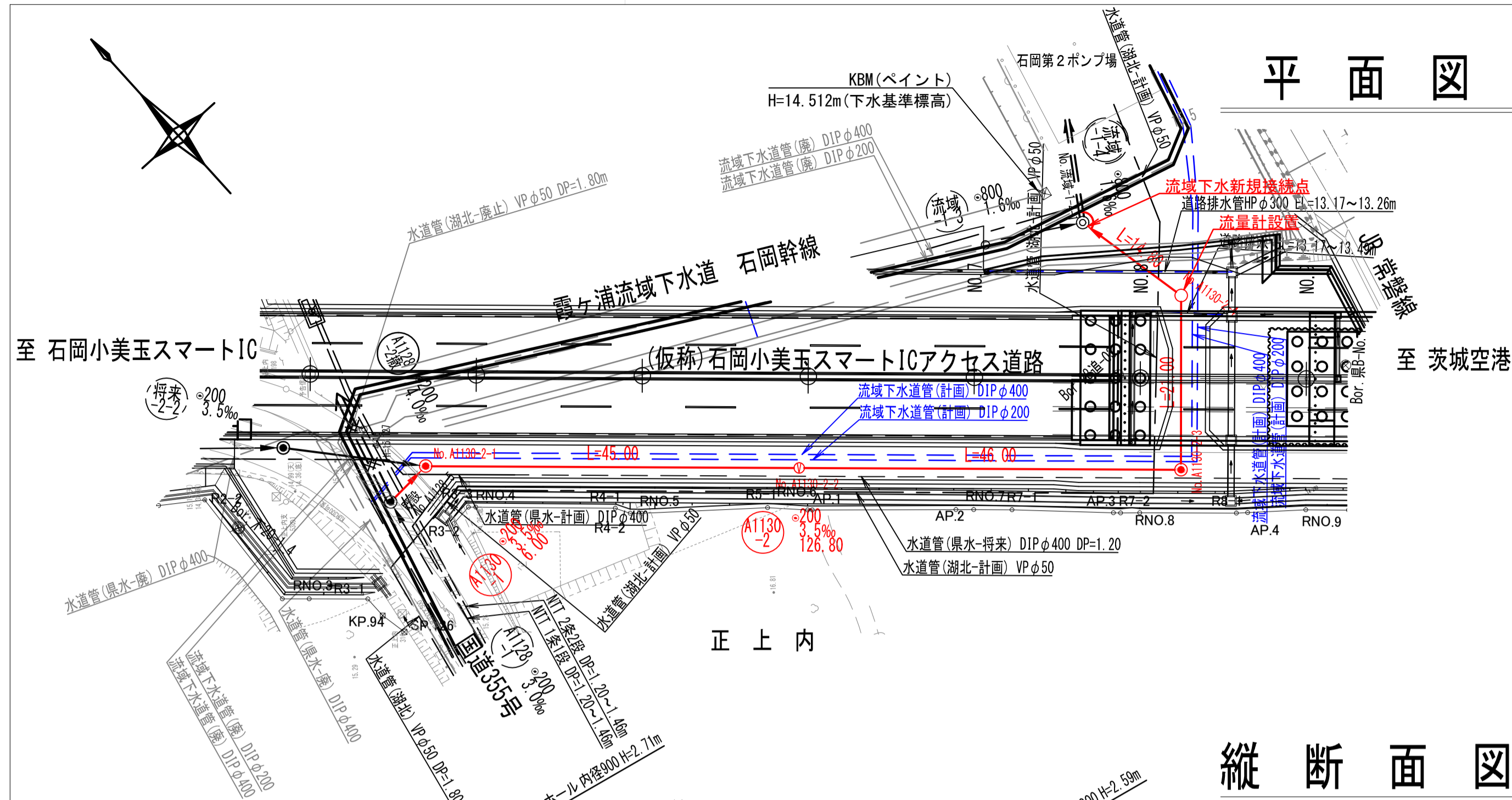
名称	記号
実施路線	
計画路線	
既設路線	
廃止路線	
塩ビ製人孔	
0号人孔 (内径75cm円形)	
1号人孔 (内径90cm円形)	
2号人孔 (内径120cm円形)	
3号人孔 (内径150cm円形)	
A1号人孔 (内径60x90cm楕円)	
区画割線	
区域内部面積 <区域外部面積>	
計画処理区域界	
認可区域界	
処理分界	

図面種別	区画割平面図	図面番号	3/10
縮尺	1:2,500		
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			



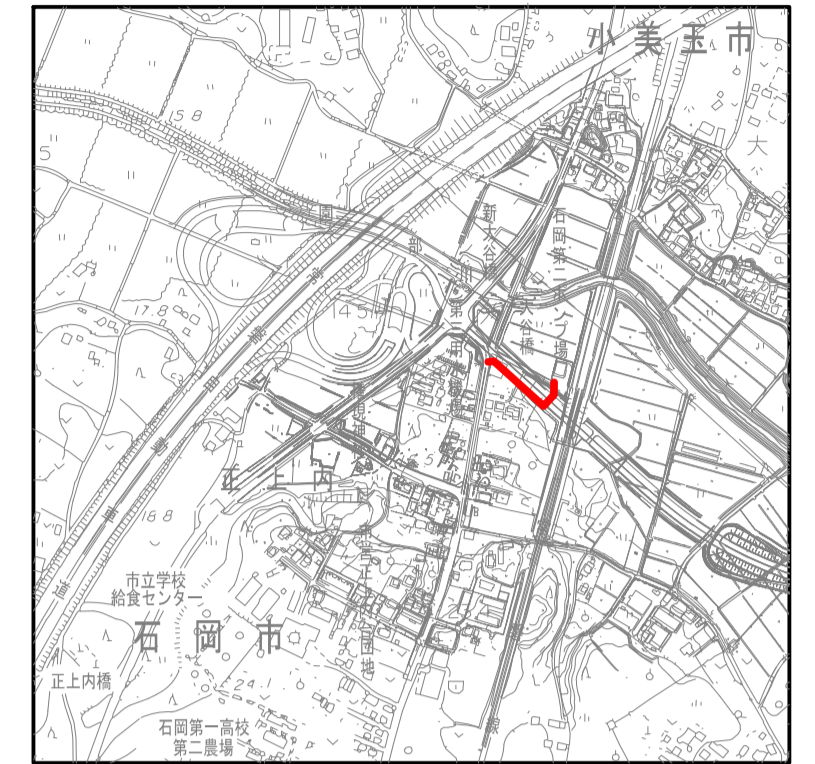
# 平面図

縮尺 1/500



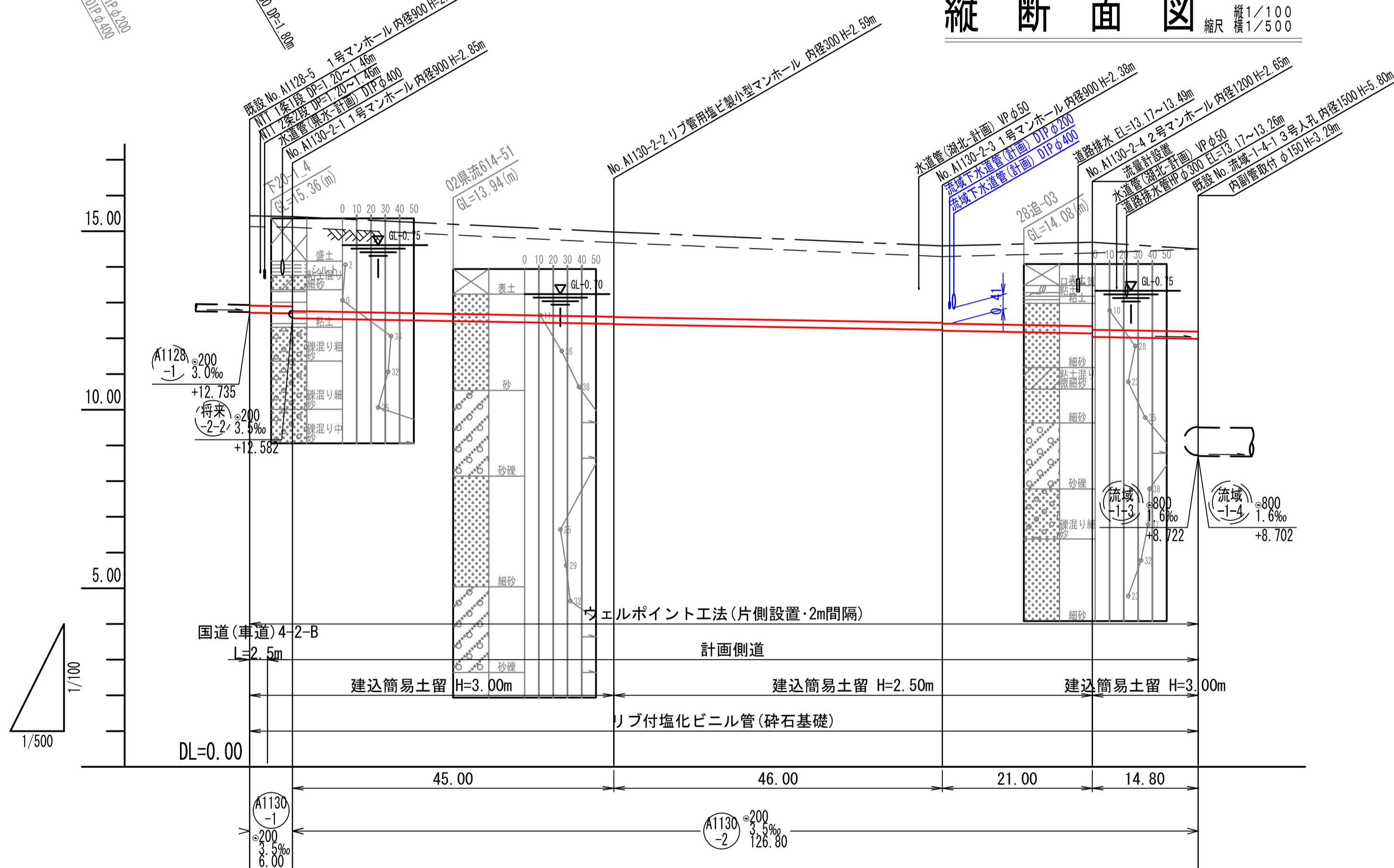
# 案内図

縮尺 1/10,000



# 縦断面図

縮尺 縦1/100 横1/500



計画地盤高	(15.43)	(15.41)	(14.98)	(14.59)	(14.69)	(14.50)
現況地盤高	15.13	15.11	14.68	14.29	14.39	14.50
土盛り	2.51	2.51	2.37	2.15	2.35	2.31
管底高	12.716	12.695	12.404	12.233	12.139	11.987
掘削深	2.52	2.52	2.38	2.16	2.35	2.62
掘削深	2.52	2.52	(2.28)	2.18	2.45	(2.54)
掘削深	0.00	6.00	5.00	97.00	118.00	132.80
掘削深	0.00	6.00	45.00	46.00	21.00	14.80

## 凡例

名称	記号
実施路線	
廃止路線	
計画路線	
既設路線	
塩ビ製人孔	
0号人孔 (内径75cm円形)	
1号人孔 (内径90cm円形)	
2号人孔 (内径120cm円形)	
3号人孔 (内径150cm円形)	
特殊1号人孔 (内径60x90cm楕円)	
小口径塩ビ井	

A1130-1 A1130-2

図面別	平面図	縦断面図	図面番号	4
縮尺	図示			
工事名	R元市単公下第5号工事			
工事場所	石岡市正上内地内			
工種				
製図年月日	平成 年 月			

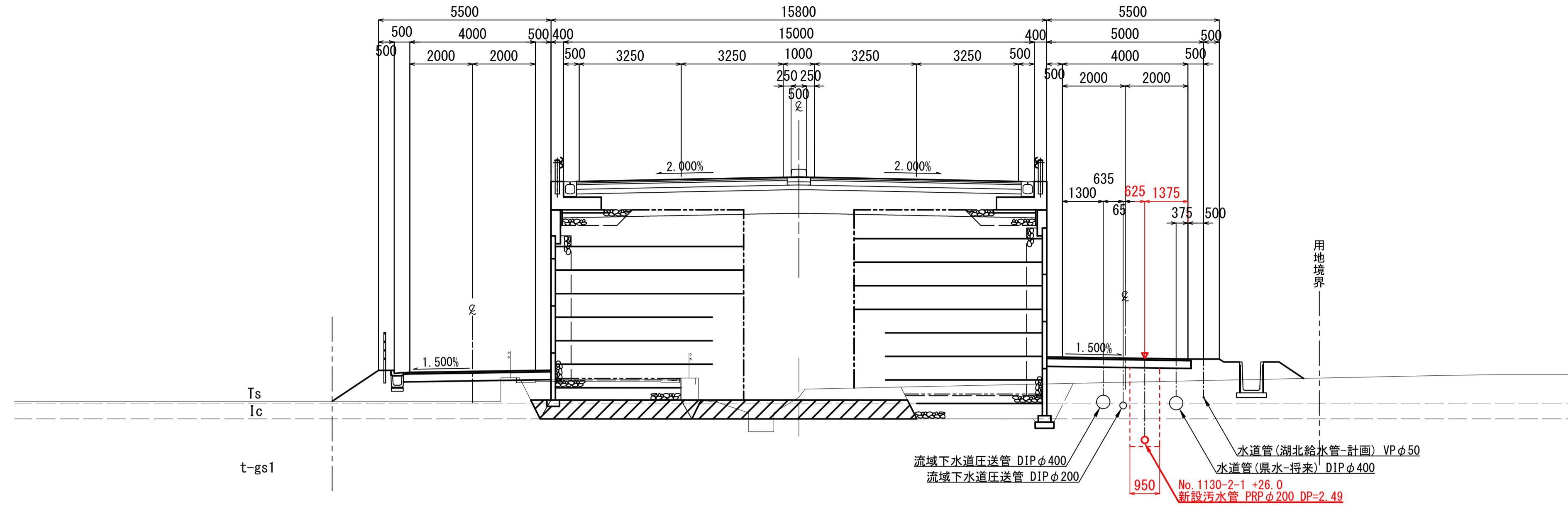
※各標高は、石岡市公共下水の基準高を使用している。  
(市公下基準高=道路基準高+0.218m)

石岡市都市建設部下水道課

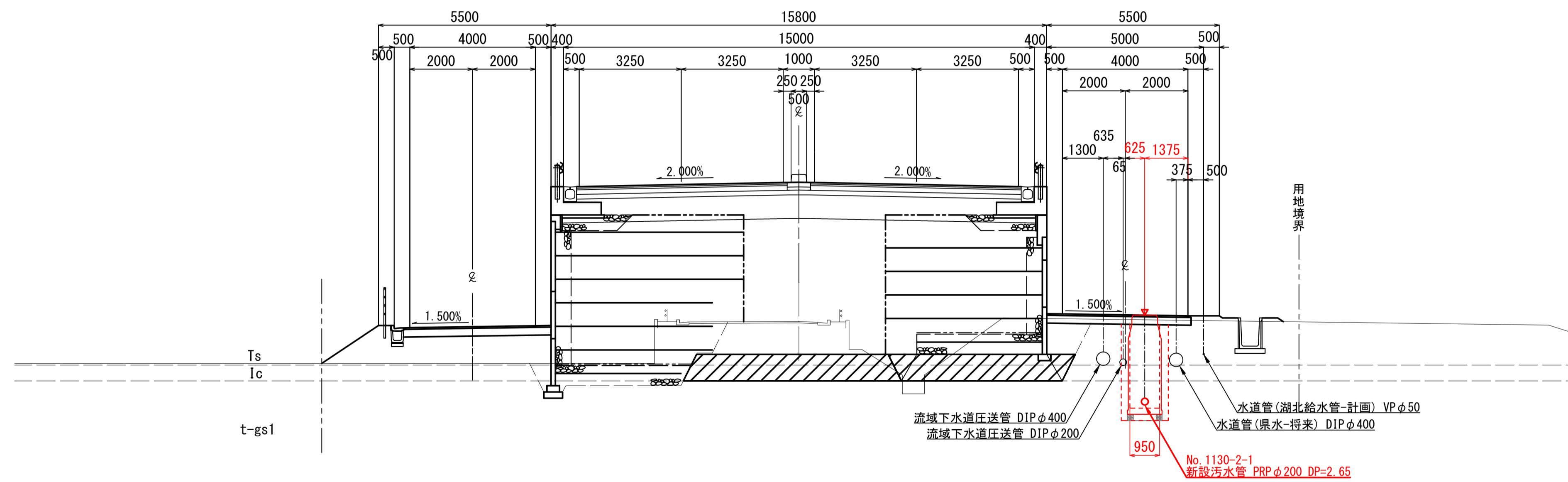


# 横断図 (1) S=1:100

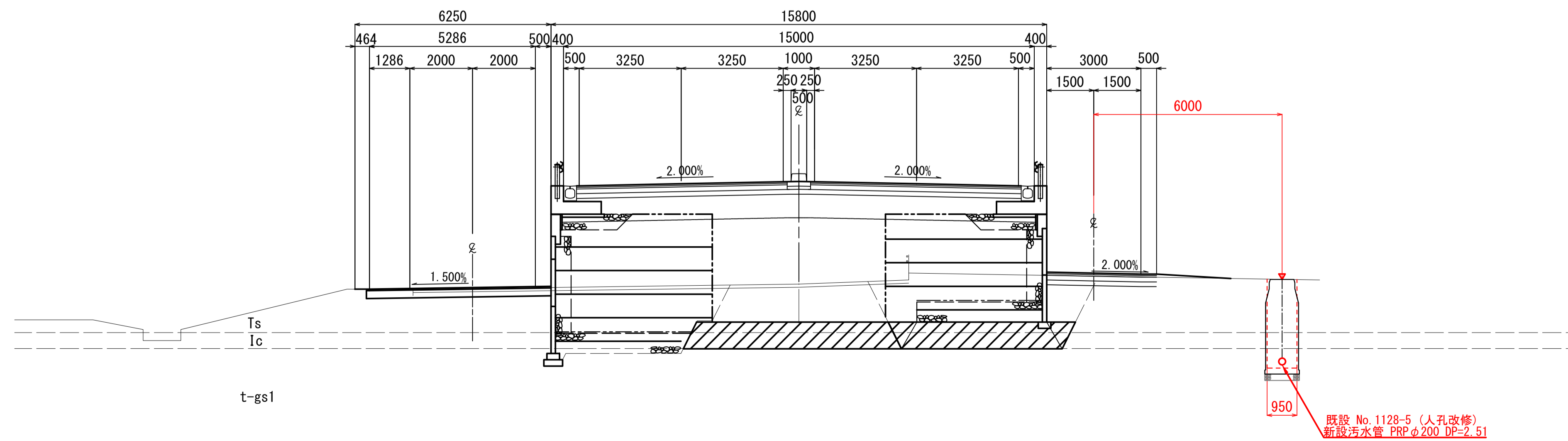
No. 1130-2-1 +26.0



既設 No. 1130-2-1



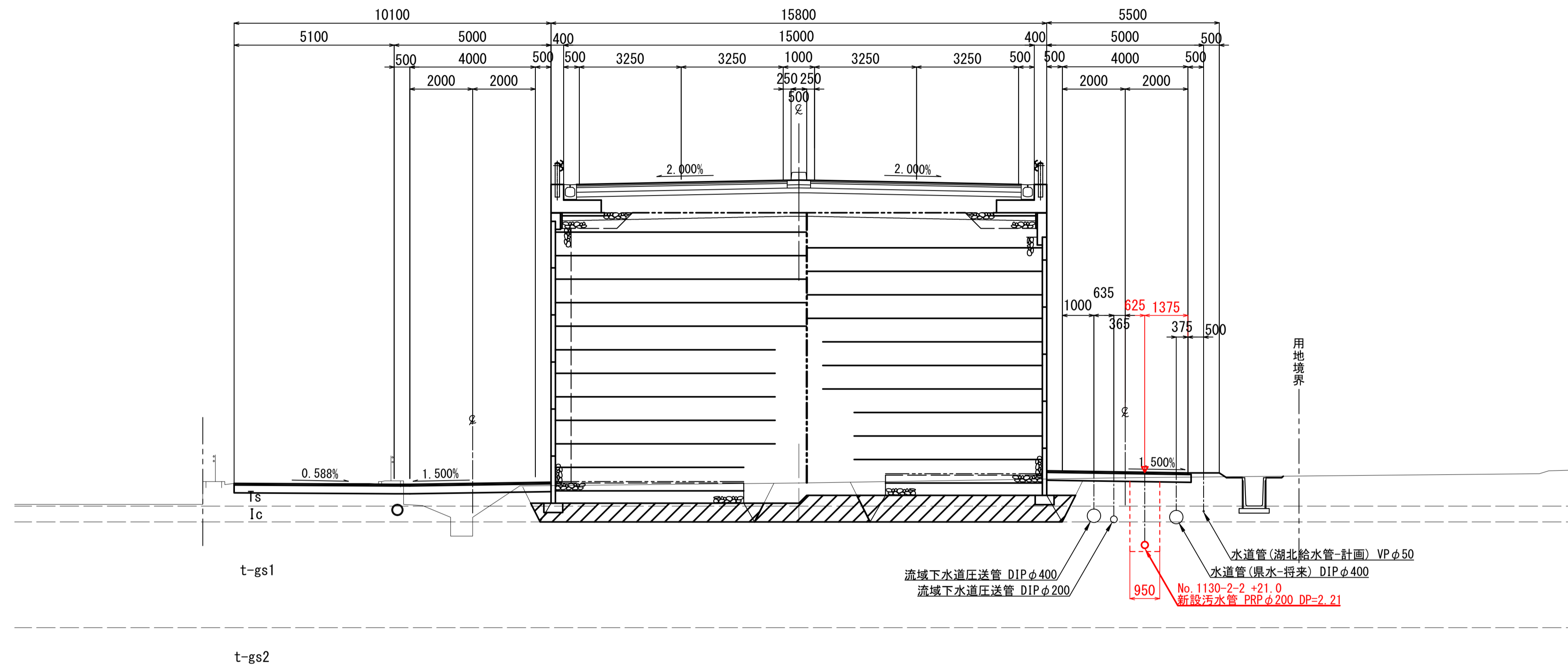
既設 No. 1128-5



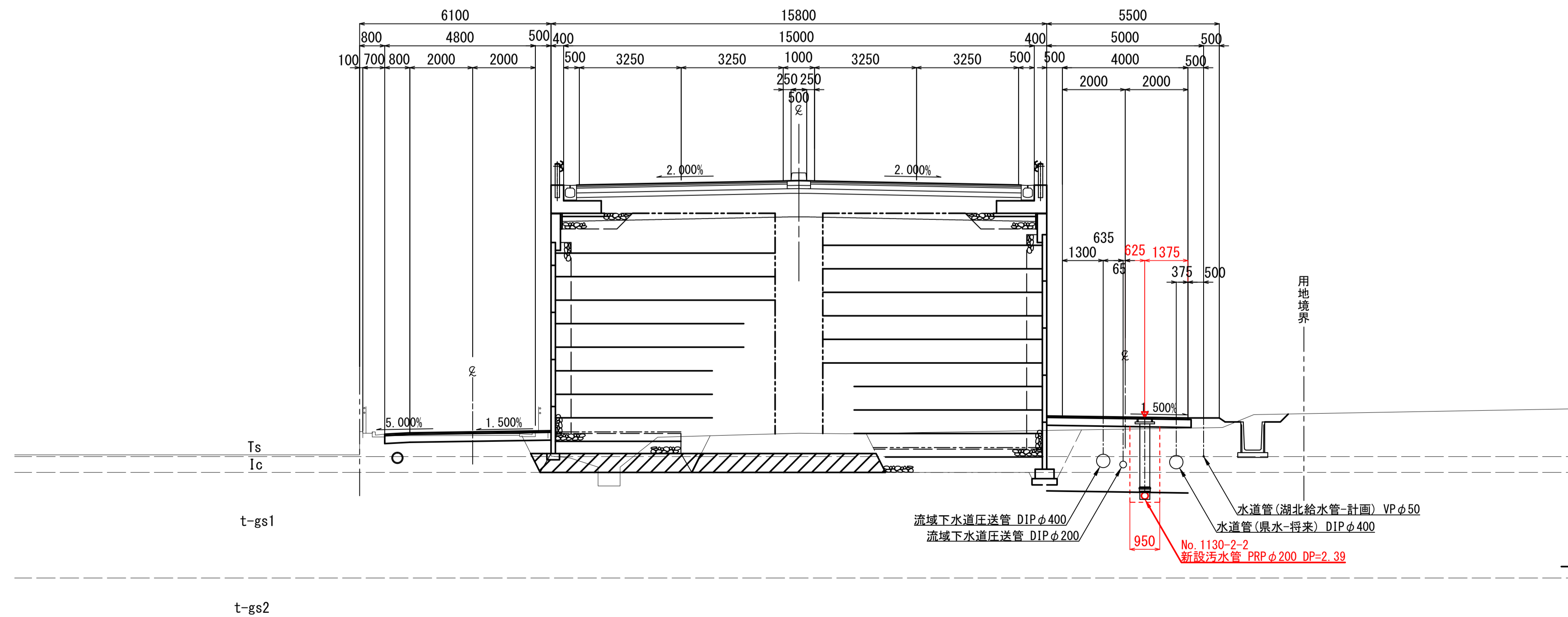
図面 種別	横断図 (1)	図面 番号	5 10
縮尺	1:100		
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

# 横断図 (2) S=1:100

No. 1130-2-2 +21.0



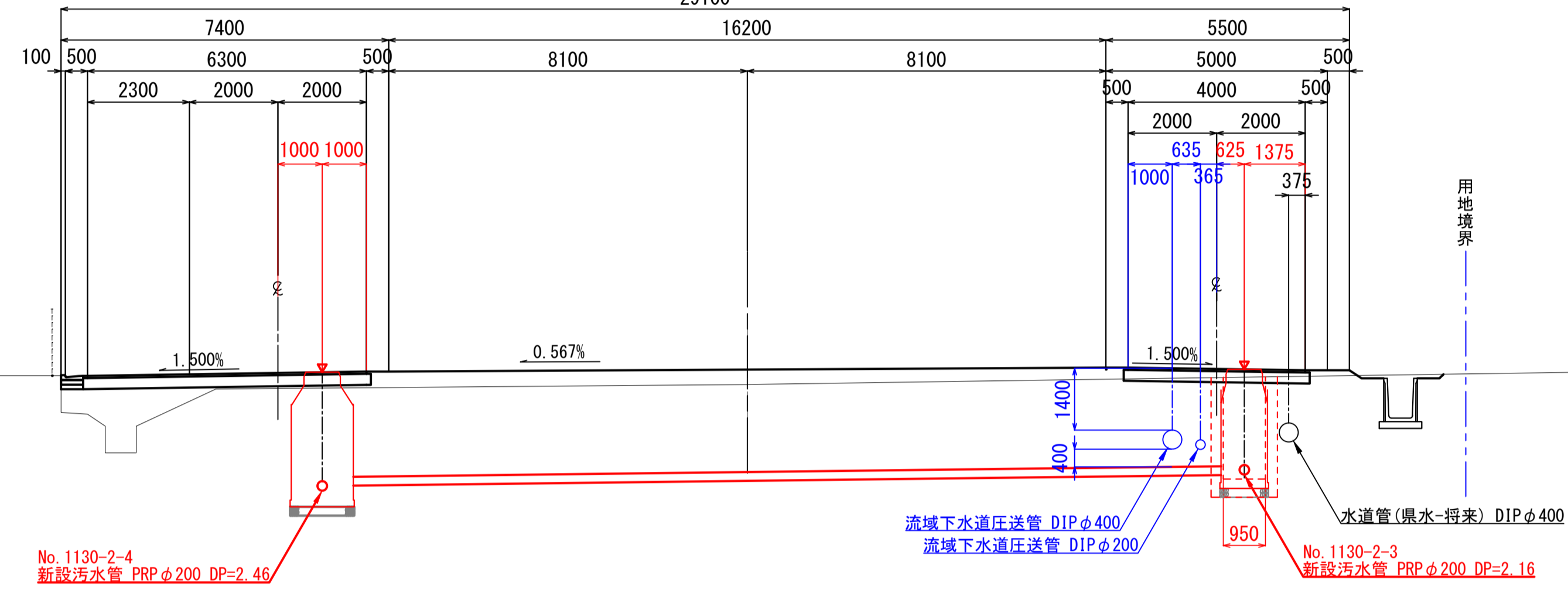
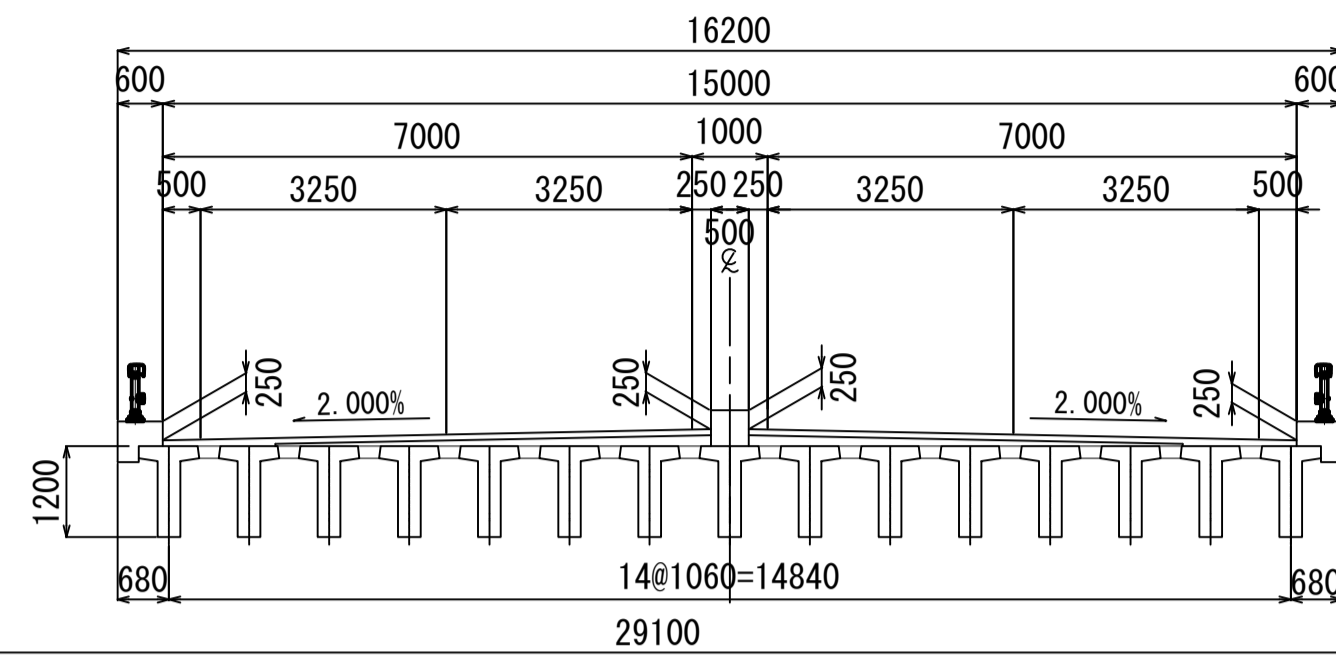
No. 1130-2-2



図面種別	横断図 (2)	図面番号	6 / 10
縮尺	1:100		
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

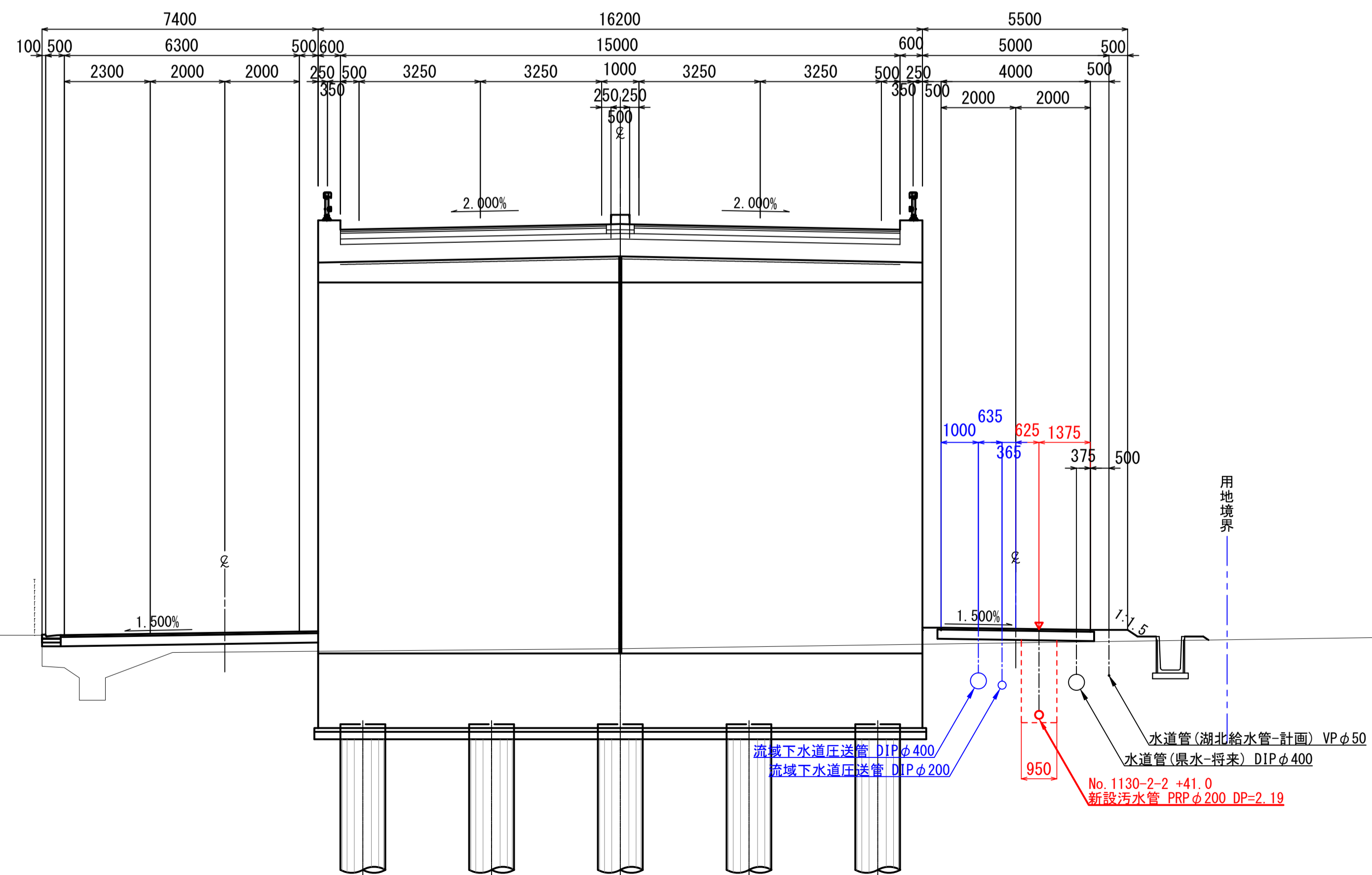
# 横断図 (3) S=1:100

No. 1130-2-3 ~ No. 1130-2-4



DL=10.0

No. 1130-2-2 +41.0



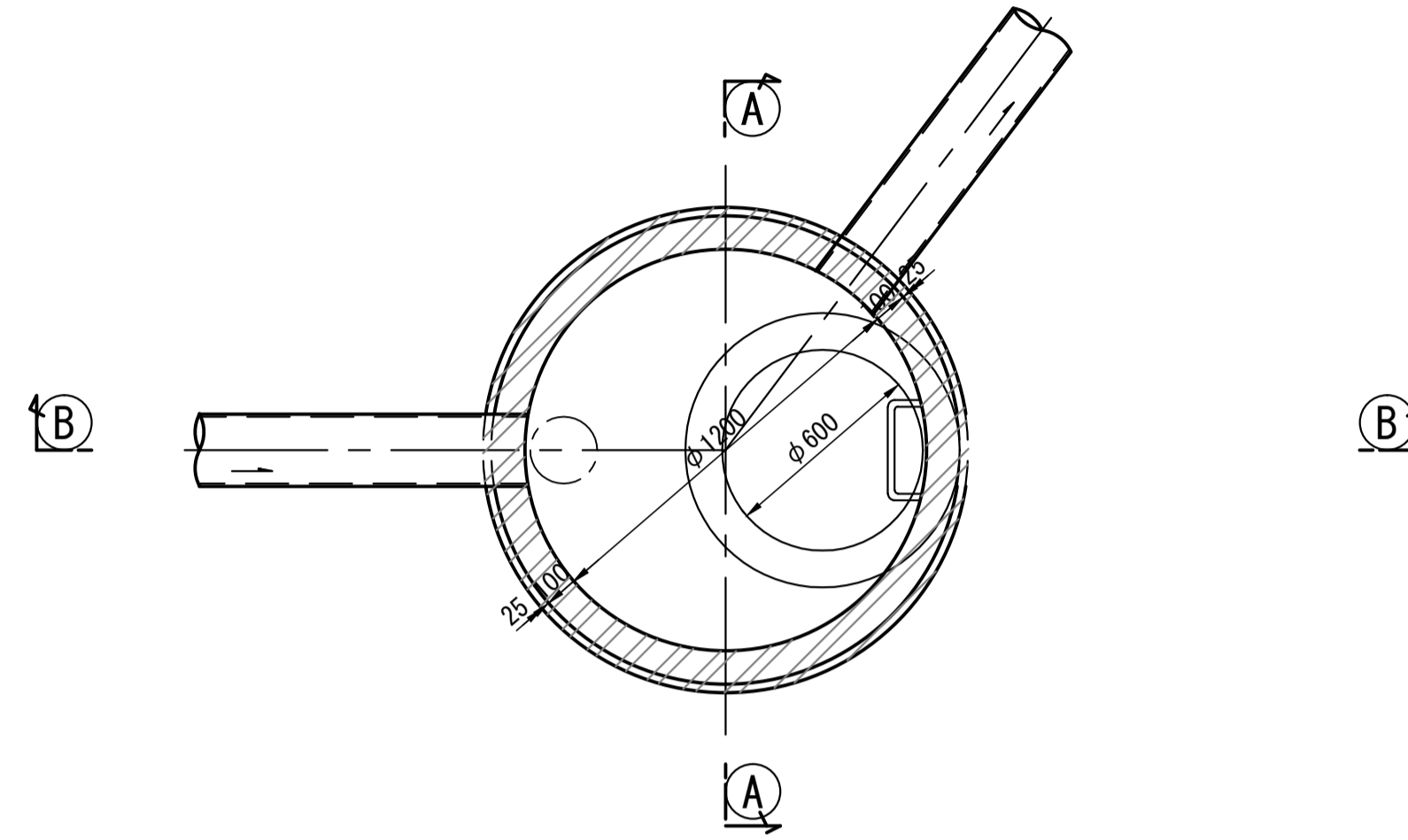
DL=10.0

図面種別	横断図 (3)	図面番号	7 / 10
縮尺	1:100		
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

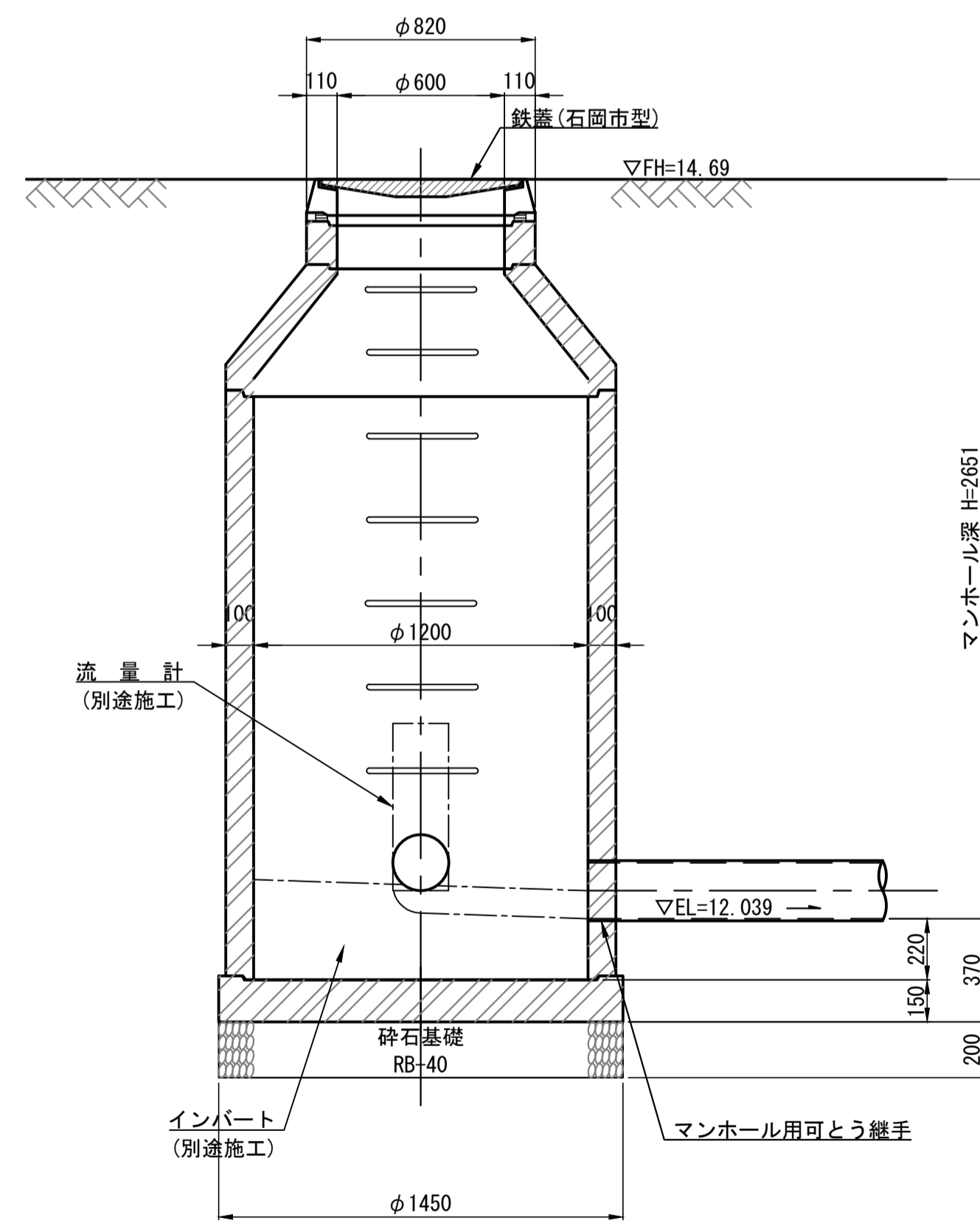
組立2号マンホール構造図 縮尺 1:20

No. 1130-2-4

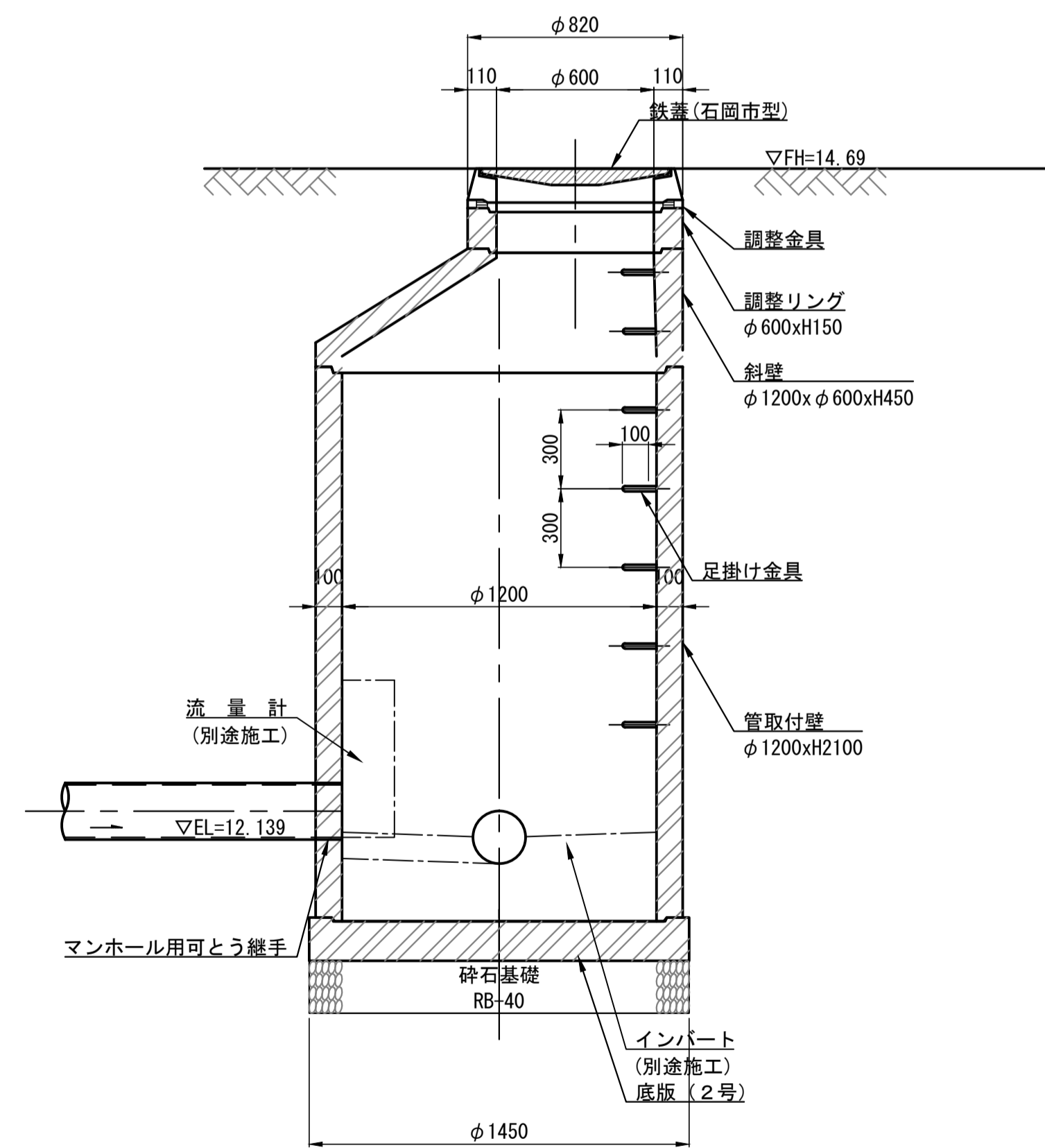
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図



鉄蓋 (石岡市型)



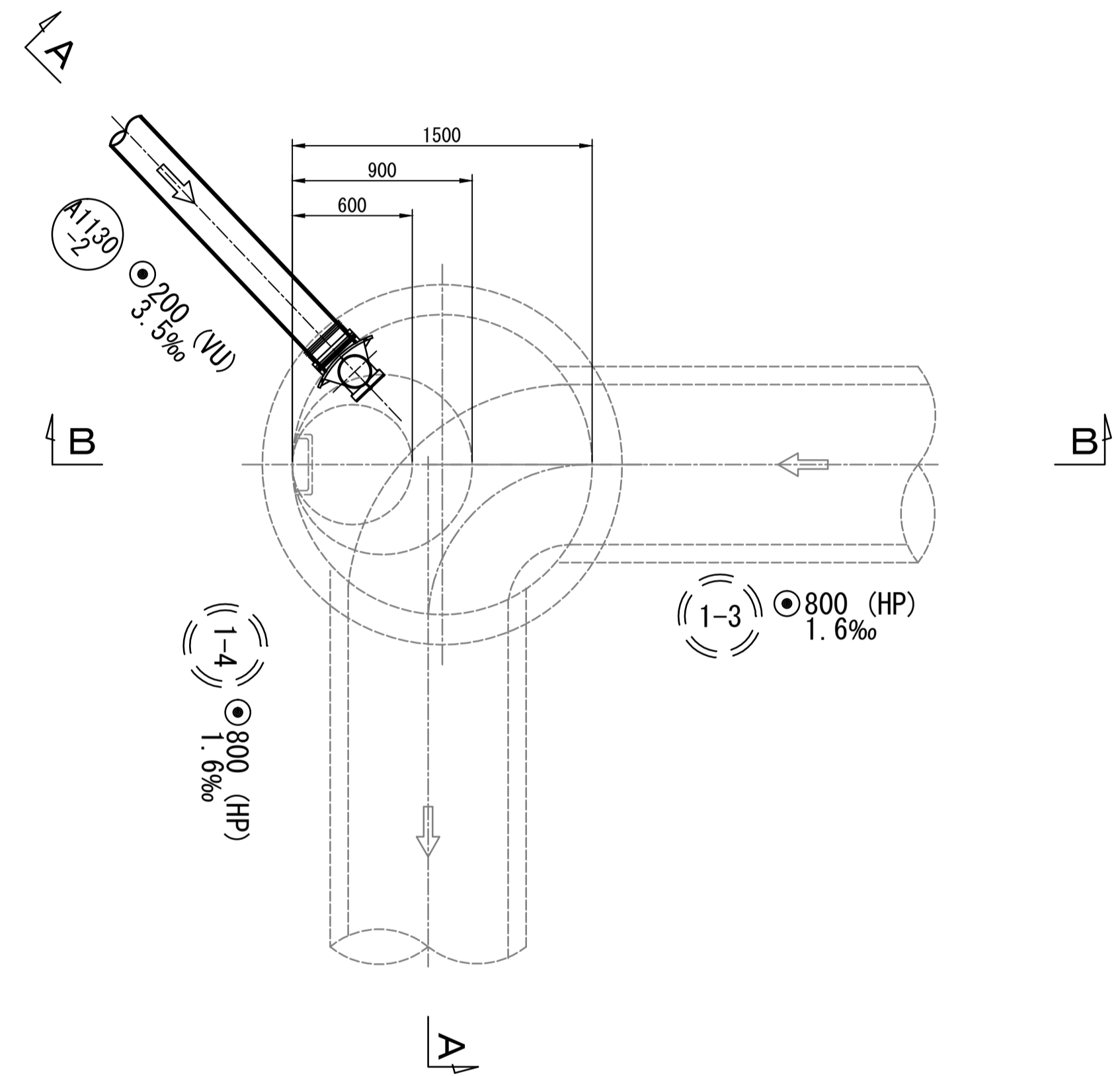
注記 1) 足掛金物は、流量計設置及び維持管理に際して支障の無い方向に設置する。  
2) 基礎砕石は承認図の底盤幅を設計値とする。

図面種別	No. 1130-2-4	図面番号	8
縮尺	1:20		
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

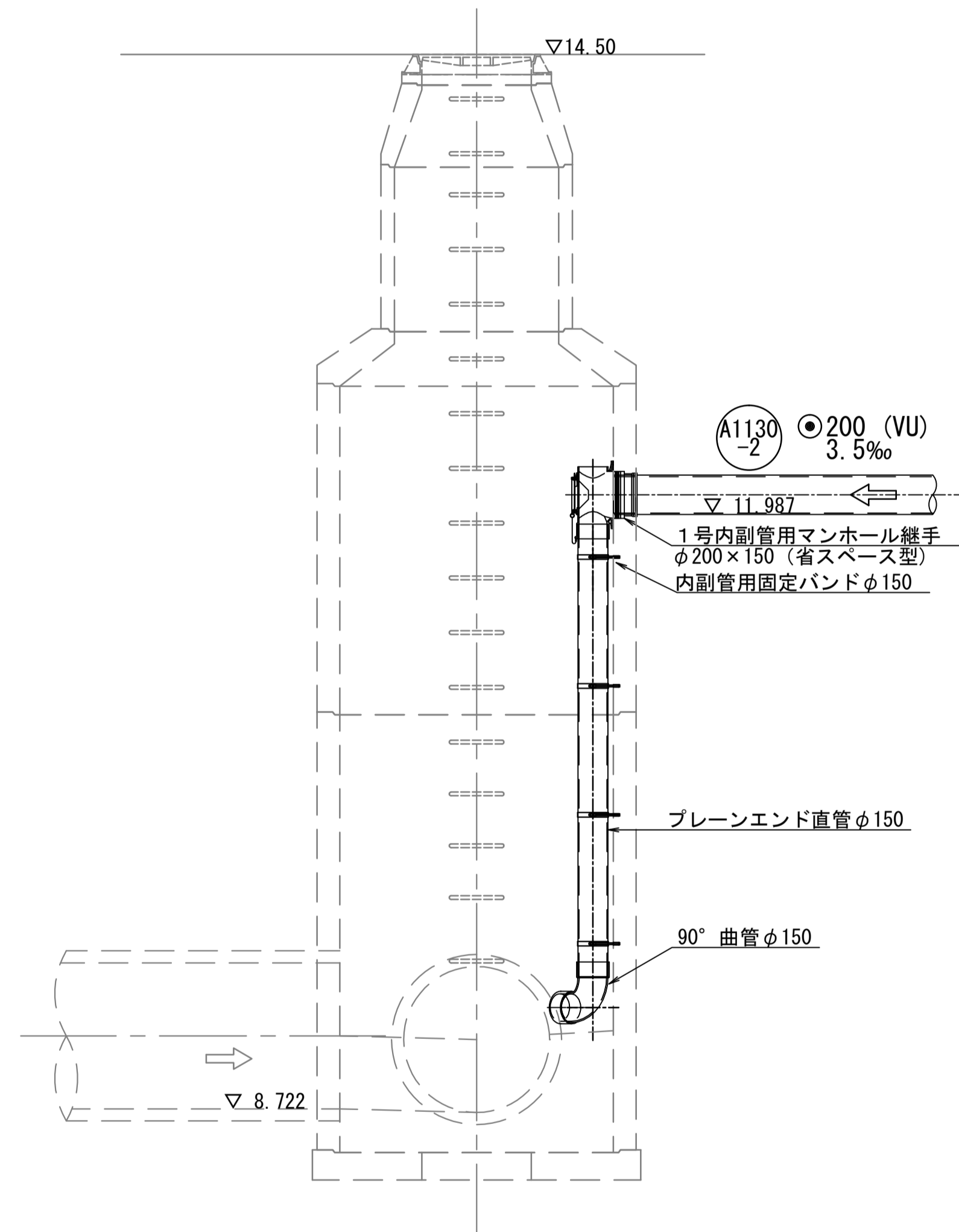
# 内副管構造図 縮尺 1:25

流域下水No. 1-4-1

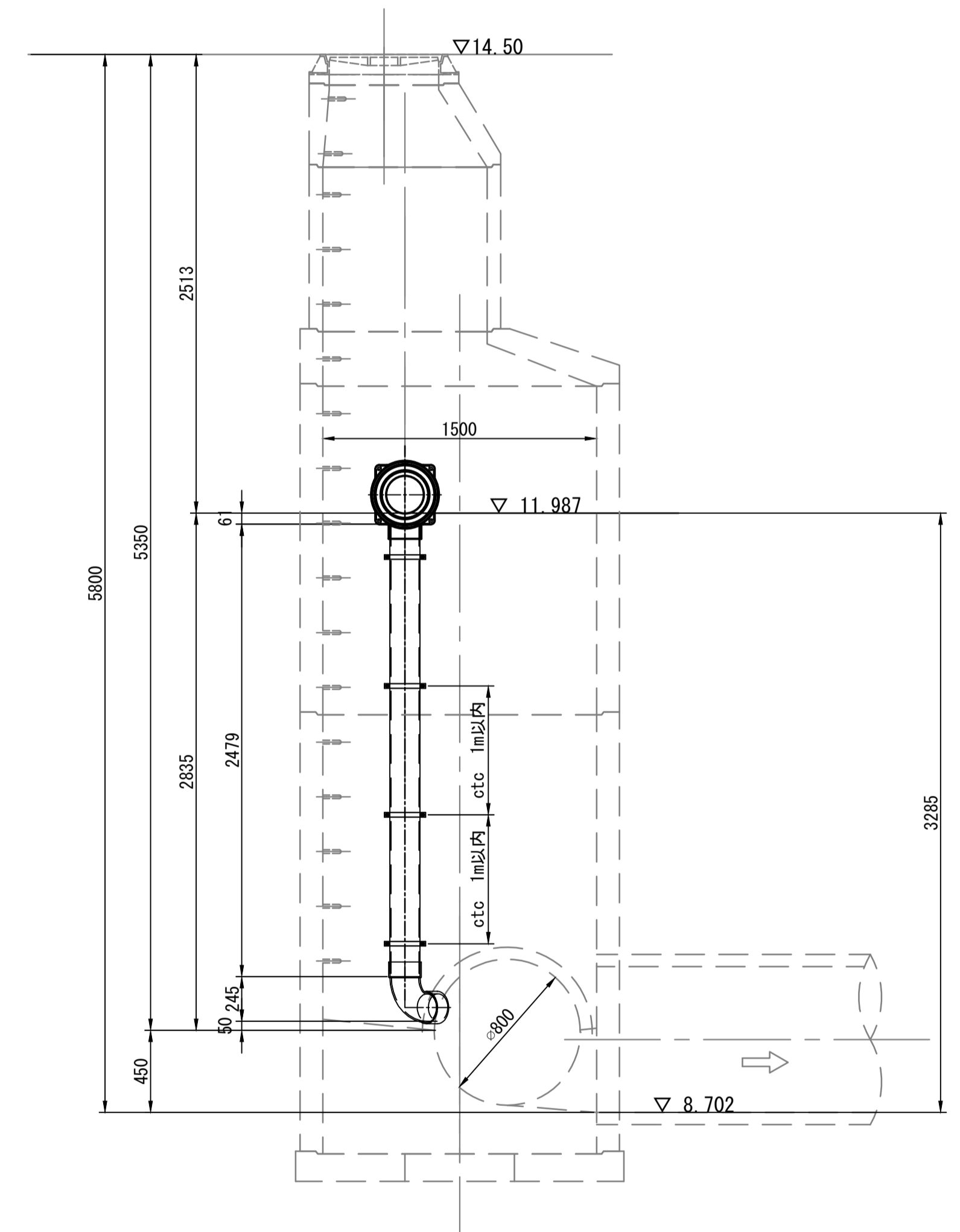
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図

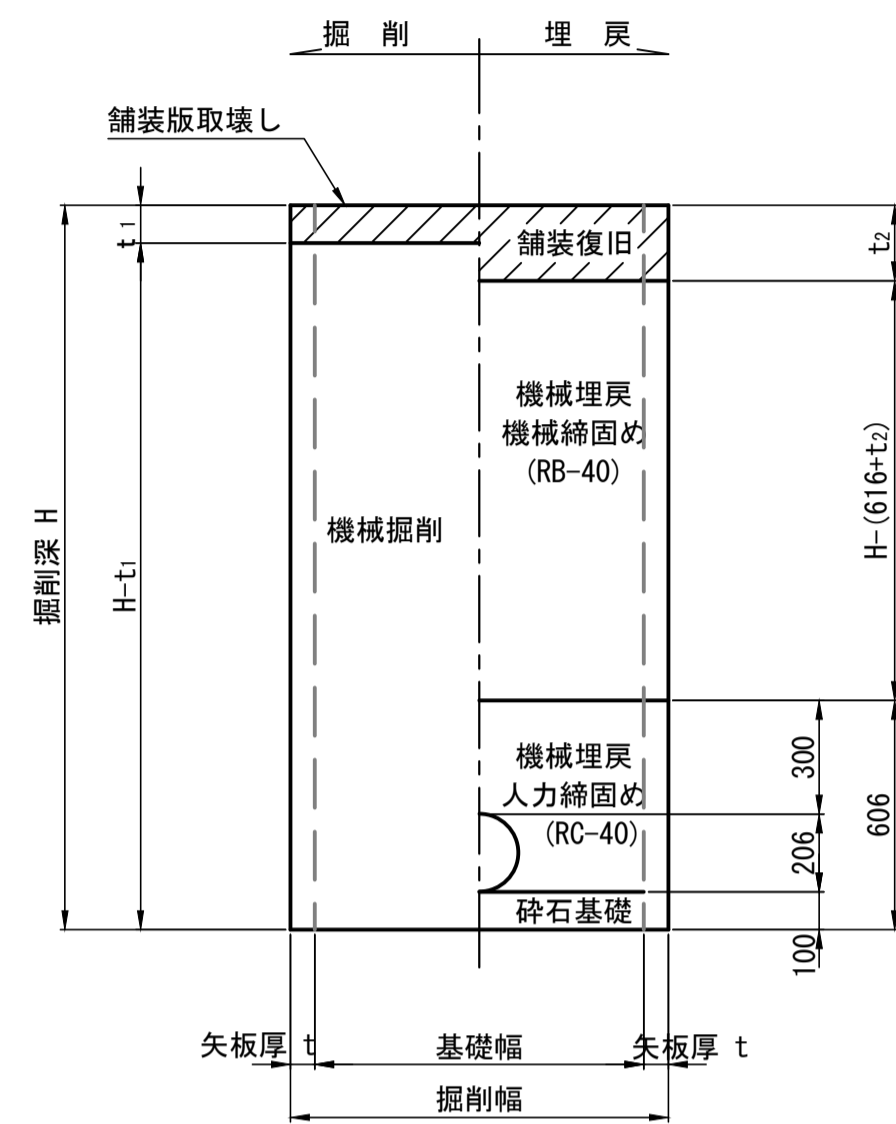


※ 内副管継手はメーカーにより寸法が異なるため、参考値とする。

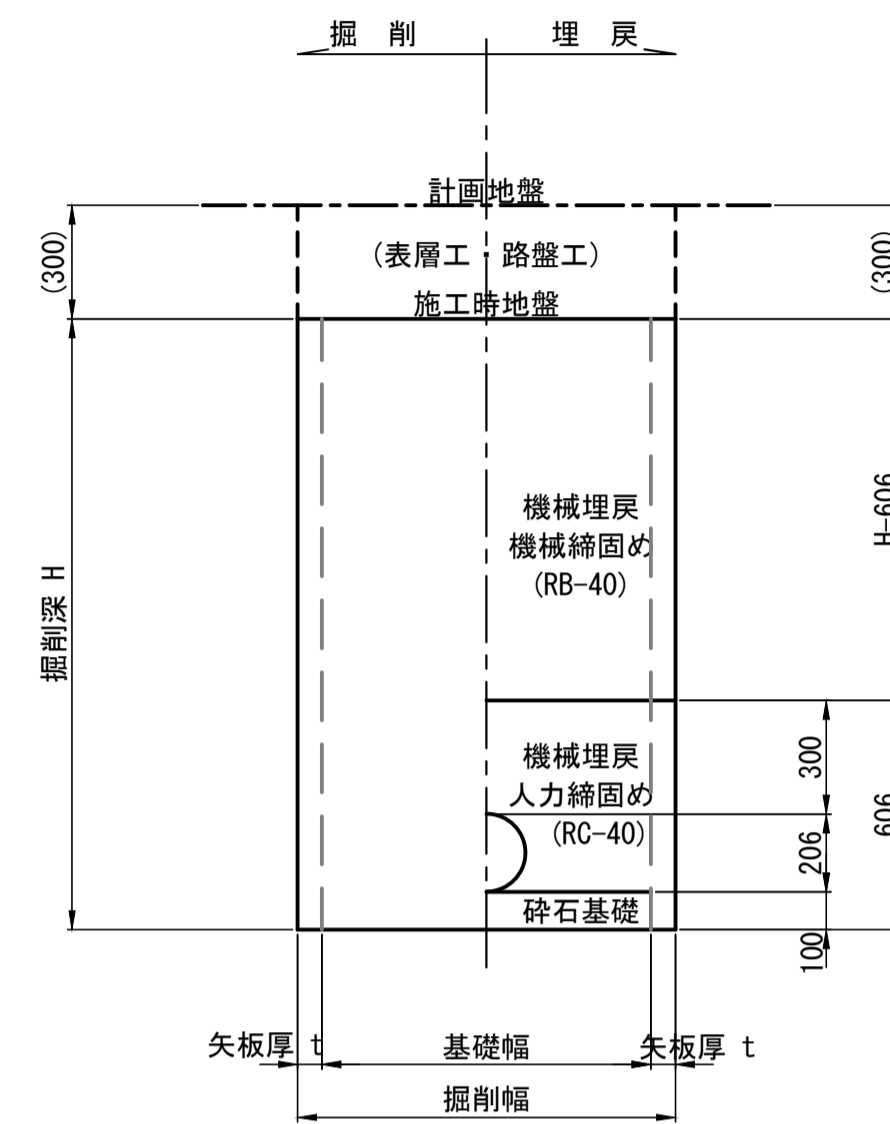
図面別	流域下水No. 1-4-1	図面	9
縮尺	1:20	番号	10
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

# 土工標準図 S=1:20

## アスファルト舗装

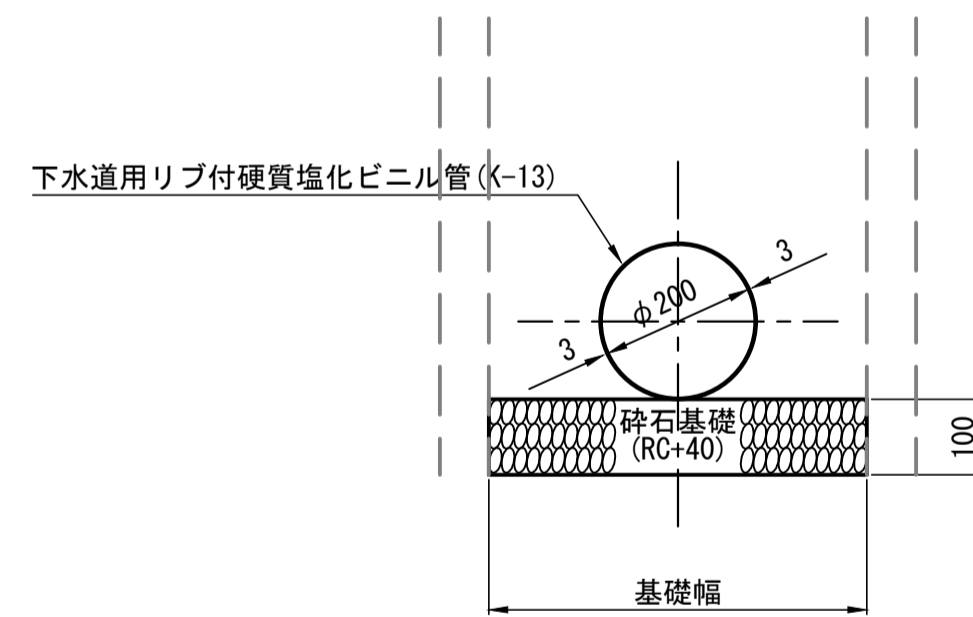


## 計画側道



# 管基礎標準図 S=1:10

## リブ付硬質塩化ビニル管φ200



### 建込簡易土留 掘削幅 (掘削深3.0m以下)

管布設に必要な幅(管布設作業)より算出  
(道路幅員 2.0m以上) (単位: mm)

項目	呼び径	リブ付硬質塩化ビニル管φ200
掘削機械		バックホウ 0.20m3級
管外径		206
余裕幅 (両側分)		300×2=600
パネル厚 (両側分)		65×2=130
計		936
修正掘削幅		950
基礎幅		820

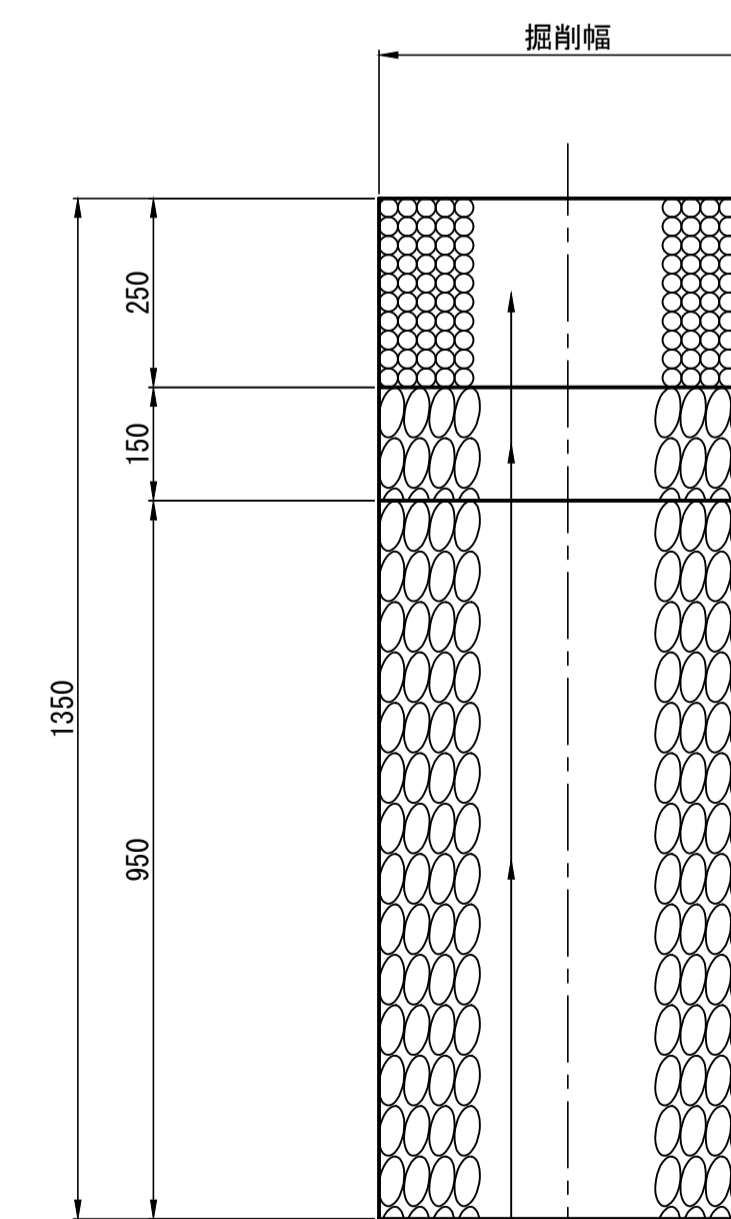
※1: 掘削深 3.00mまで適用可  
※2: バックホウ0.35m3級、またはバックホウ0.60m3級を使用の際は、別途算出する。

# 舗装復旧図 S=1:10

## アスファルト舗装

国道(車道)  
(A1130-1-1~ +2.7m)

### 仮復旧



上層路盤工 M-30

下層路盤工 RC-40

路床入替工 RB-40

図面別	土工標準図・管基礎標準図	図面番号	10
縮尺	図示		
工事名	R元市単公下第5号工事		
工事場所	石岡市正上内地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			